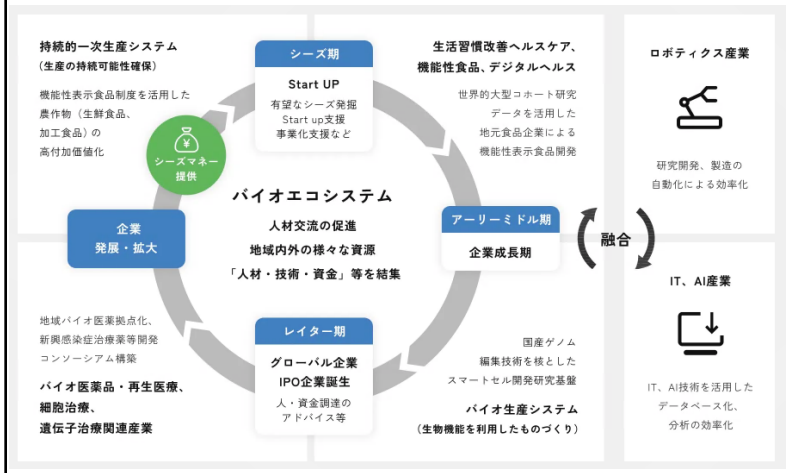
事業概要【福岡バイオコミュニティ形成プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福岡県、久留米市	初回採択回	令和３年度第１回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	1,552,584千円 （279,494千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・福岡バイオコミュニティの形成を推進し、国内有数のバイオ産業の拠点化を目指す ・イノベーションや投資等を促進するバイオエコシステムの構築を目指す ・地域において魅力的で安定した雇用の場を創出する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	１．福岡バイオコミュニティ基盤形成 ○福岡バイオコミュニティ推進会議の運営（人件費、活動費等）　28,327千円 ○市場領域拡大に係るプロジェクト協議会の運営（旅費、資料代等）　3,655千円 ○報告会・連絡会等の開催（使用料、旅費、資料代等）　7,346千円） ○オープン・イノベーション機能構築（人件費、活動費等）　10,789千円 ○異分野交流の環境整備（共用機材整備費、オペレート費用等）　10,000千円 ○展示会・マッチングイベント等の開催及びアドバイザーによる海外展開支援 （出展料、使用料、資料代、人件費等）　18,500千円 ○オウンドメディアの運用（HP改訂費、資料代等）　3,299千円 ○アクセラレーションプログラムの構築（人件費、活動費、使用料等）　18,002千円 ○人材確保・人材育成支援事業（人件費、使用料、旅費等）　3,814千円 ２．福岡バイオコミュニティ市場領域の拡大（県内バイオベンチャーへの実証事業補助等） ○生鮮食品等の機能性食品展開事業（補助）　28,712千円 ○出口戦略・海外展開事業　（補助）4,328千円 ○地域バイオ医薬拠点化事業（補助）　57,788千円 ○先駆的バイオベンチャーに対する米国での医薬品承認等支援事業（補助） 14,000千円 ○ゲノム編集や生物機能等を活用したスマートセル実用化事業（補助）42,234千円			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①バイオ分野の一人あたり給与（+333,000円） ②県内バイオ関連企業数（+55社） ③実証事業による製品化販売額（+330,000,000円） ④福岡バイオコミュニティ推進会議新規会員数（+110会員）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/degidenkoufukin.html

事業概要【自然と健康になるまちづくり（ポストコロナにおける新たなふくおか健康づくり県民運動）】

申請者	福岡県						初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	767,461千円 （133,736千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	まちづくり分野

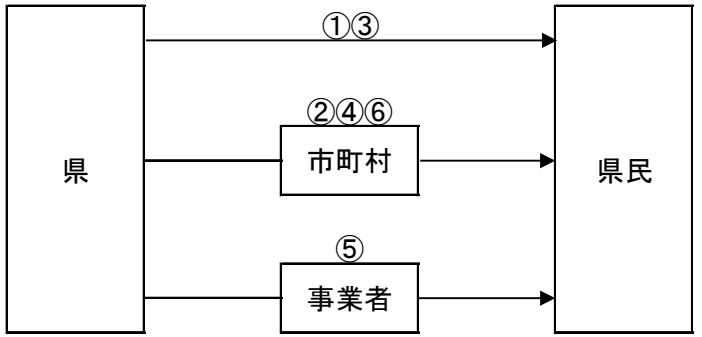
目的・効果

①働く世代の歩数を日常生活の中で増やすための環境を整備。
②市町村が実施する健康教室を社会参画の場として活用することを支援。
③産学官の協議会を設置し、健康関心度に関わらず減塩ができる環境を整備。
④国民健康保険のデータ分析結果等を活用し、訴求力の高い健（検）診の受診を勧奨。
⑤県内中小企業の働き方改革や健康経営を推進し、中小企業における魅力ある職場づくりを推進。
⑥スポーツ推進委員を健康教室のインストラクターとして養成するなど、スポーツ推進委員の活用を推進。

事業概要・主な経費
※経費内訳はR7年度事業費

①歩きやすい靴、動きやすい服装による通勤と、通勤時間・休憩時間を活用した歩数増加をキャンペーンとして県内全域の企業、行政機関等で展開。
・キャンペーン実施費（委託料）4,254千円
②スロージョギング等の健康教室を、高年齢層に身近な市町村において、高齢者の交流の場、レクリエーション活動、スポーツ活動参加の場として活用することを支援。
・健康教室を活用した高齢者の社会参画推進（補助金）98,132千円
③関心度に関わらず減塩できる環境整備のため、産学官の協議会を設置し、家庭でのレシピ開発、企業連携での減塩キャンペーン、減塩商品の開発支援を実施。
・減塩商品の開発等補助及び販売支援（補助金、委託料）18,380千円
④国民健康保険データや九大久山町研究から得られるエビデンスを基にした健（検）診の受診勧奨やナッジ理論等を活用した訴求力の高い受診勧奨を実施。
・エビデンスに基づいた健（検）診受診勧奨事業（委託料） 1,320千円
⑤本県版健康経営認定制度をつくり、協会けんぽや経済団体と連携して県内中小企業の働き方改革や健康経営を推進し、魅力ある職場づくりを拡散。
・健康経営認定制度運営費（委託料）6,144千円
⑥全市町村に配置されているスポーツ推進委員を健康教室のインストラクターとして養成することを助成し、スポーツ推進委員の活用を促す。
・スポーツ推進委員活用促進事業 （補助金）1,004千円

＜事業イメージ図＞



地域の多様な主体の参画

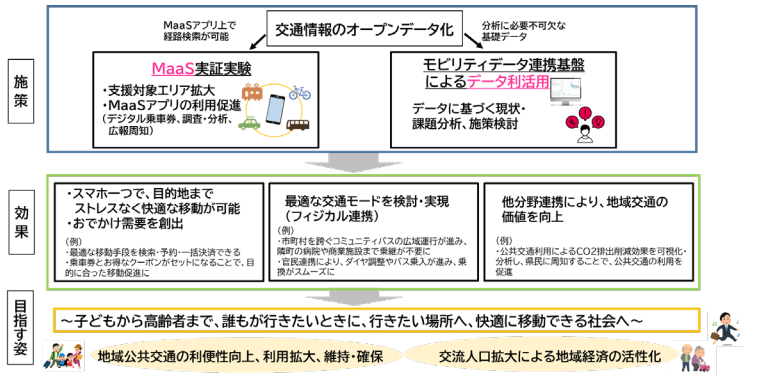
食品製造・小売事業者と連携し、減塩意識向上のためのイベント等の取組を行うとともに、取組結果を市町村へ情報提供し、取組の横展開を図る。
県内大学等における運動・食生活改善に向けた助言を活用するとともに、学生・事業者が連携した減塩商品の開発等、減塩市場定着に向けた取組の展開を図る。
経済団体等と連携し、健康経営に取り組む優良事例を発信する等により、健康経営への参加事業者を増加させ、健（健）診受診率の向上等を図る。

KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

①成人のスポーツ実施率（週1回以上運動またはスポーツを実施している者の割合）（＋10.1%）
②「ふくおか健康ポイントアプリ」利用者の平均歩数（＋2,850歩）
③特定検診実施率（＋25.2%）

事業概要【近未来MaaS福岡モデル創出事業】

旧制度（推進）

申請者	福岡県ほか３自治体※	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	395,886千円（165,485千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・地域公共交通の維持・確保とともに交通分野の利便性向上 ・交通政策立案（EBPM）や交通事業最適化、他分野における施策展開 ・地域の実情に応じた持続可能で多様かつ質の高い地域公共交通の実現		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○新モビリティサービスの導入支援 ・MaaSアプリと他の交通システム（AIオンデマンド交通システム等）との連携費に係る補助（補助金）9,600千円 ・企画乗車券の造成費（補助金）4,400千円、（市町村負担金）996千円 ・観光情報の発信（委託料、需用費）6,985千円 ・交通情報のオープンデータ化支援（委託料）3,520千円 ・AIオンデマンド交通の導入（補助金）72,376千円 ・デジタル技術を活用したコミュニティバスの実証運行支援（補助金）47,688千円 ○MaaSの普及・啓発 ・MaaSの広報（委託料）9,273千円 ・MaaS導入後の調査・分析（委託料）8,005千円 ○福岡県MaaS実行委員会・分科会の運営 ・運営費（報償費、講師旅費、食糧費、使用料）2,642千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①北九州・筑豊・筑後地域における乗合バス利用者数（＋20,225千人/年） ②県内市町村における新たな輸送サービスの導入件数（＋13件） ③MaaSアプリ利用者数（＋41,975人） ④データ利活用実施市町村数（＋25市町村）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/degidenkoufukin.html

※福岡県、久留米市、東峰村、添田町の広域連携事業

事業概要【関連産業との相互連携強化による「選ばれる福岡県の農林水産業」の実現】

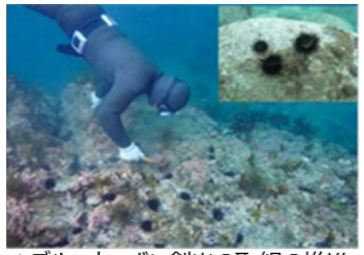
旧制度（推進）

申請者	福岡県	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	531,081千円（180,807千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	• サプライチェーンが一体となり、付加価値の高い県産農林水産物を流通・販売するモデルを構築 • 効率的な農林水産物流通の確立により、将来に持続する物流ルートを確保 • 食品産業等における原材料調達の国内回帰の動きをとらえた、ニーズに対応した販売促進活動により、業界相互の連携を強化		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○信頼性を担保した付加価値の高い農林水産物流体制の確立 ・新たなｱｻﾘ流通体制「福岡ﾓﾃﾞﾙ」の構築（補助金） 10,292千円 ○トラック輸送能力低下への対応 ・果樹における流通ロス低減技術や販売期間延長技術の実証（需用費、委託料） 10,486千円 ○持続可能なサプライチェーンの構築 ・食品卸業者との連携による販売促進（委託料等）100,901千円 ・民間企業と連携した県産木材の需要拡大（補助金等）18,339千円 ・民間企業等の博多和牛生産への新規参入支援、及び新規輸出先の開拓（負担金等） 9,354千円	 ▲「福岡有明あさり」 ▲かき「秋王」 ▲ライフスタイルに合わせた木製家具 ▲優等賞入賞の「博多和牛」	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①大都市圏への県産青果物流通量（東京都中央卸売市場における県産青果物取扱量）（+3,000トン） ②新たなアサリ流通体制「福岡モデル」による取扱量（+150トン） ③福岡フェア等における県産食材の取扱高（+37.50百万円）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/degidenkoufukin.html

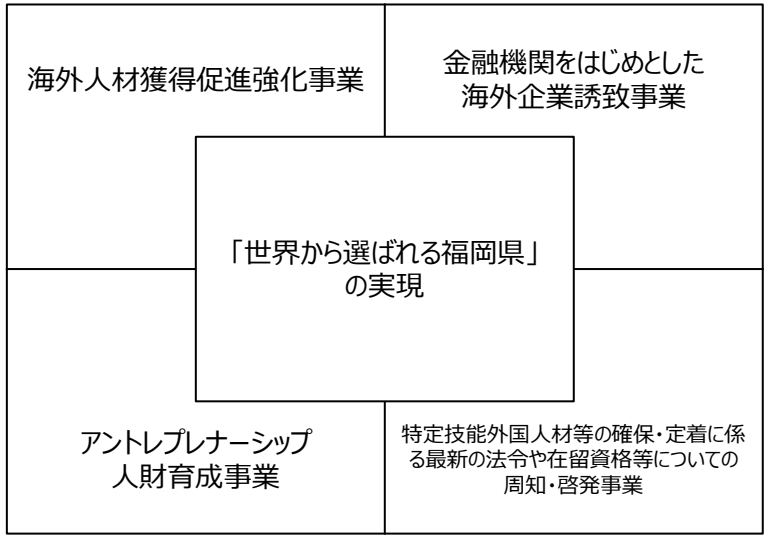
事業概要【国内外のスタートアップ・ベンチャーが集うイノベーション・エコシステム拠点の形成事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県、久留米市</td><td>初回採択回</td><td>令和５年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R5-R7年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>544,041千円
（250,632千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>ローカルイノベーション分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">・グローバルな投資家との接点を創出し、海外からの投資を呼び込む
・アジアとボストンを対象地域とし、海外企業誘致を加速化する
・国内外の企業が集う場づくりや分野横断的なイベントを開催し、グローバルなオープンイノベーションを促進
・スタートアップや中小企業のアトツギなどの若手企業家の育成を強化し、イノベーションの多様な担い手を創出</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">○グローバル拠点の形成・CIC等との連携強化
・新拠点のオープニングイベント、連携イベント等（負担金）46,056千円
・CICとの連携による企業誘致体制の強化（負担金）10,524千円
・イノベーションコミュニティ構築のためのイベント開催（負担金）12,671千円
・海外スタートアップ、ＶＣの誘致活動の強化（負担金）47,647千円
・世界を目指す起業家・投資家の育成（負担金）26,316千円
○ユニコーン創出プロジェクト
・プログラム運営費等（負担金）50,497千円
○アトツギ・サッシンベンチャー創出プロジェクト
・セミナー・ワークショップ等開催費（負担金）56,921千円</td><td colspan="3"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">地元企業、行政、支援機関、大学、金融機関から構成する「福岡県ベンチャービジネス支援協議会」への意見聴取を行いながら、ビジネスマッチングイベントやアクセラレーションプログラム、海外スタートアップやVCの誘致活動などを実施し、グローバルなスタートアップエコシステムの形成に向けた取組みを進めている。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①本県のベンチャー企業への投資額（＋528億円）
②1億円以上の投資を受けた企業数（＋51社）
③福岡拠点開設を決めた海外企業数（＋33件）
④米国ボストンに有望人材を派遣する件数（＋20件）</td></tr>
</table>

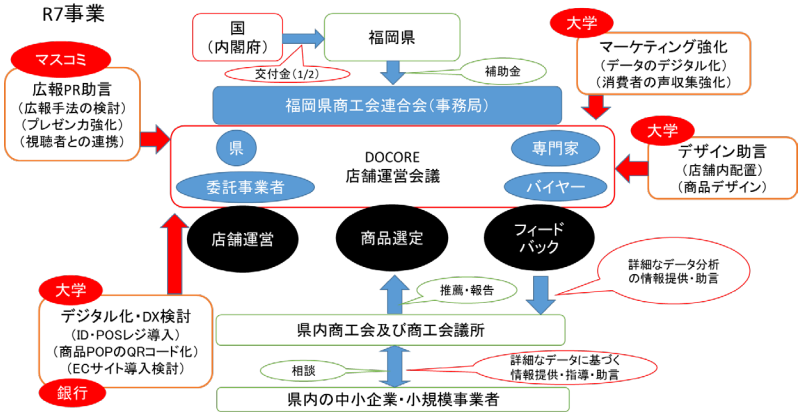
事業概要【環境負荷低減の取組による「環境に配慮した持続可能な福岡県の農林水産業」の実現】 旧制度（推進）

申請者	福岡県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	441,073千円（156,446千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	• 農林水産業における生産、加工、販売の各段階において、脱炭素化やロスの削減、低コスト化といった環境負荷低減の取組を実施することで、本県の農林水産業が環境に配慮した持続的な産業へと成長。 • 環境に配慮した持続可能な農林水産業を支える土台となる農山漁村が維持・発展。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進 ・食肉生産の効率化や輸送等のコスト低減 （補助金等）7,800千円 ・新品種・新技術の導入による環境負荷およびコストの低減 （補助金、委託料等）51,397千円 ・資源の有効活用に向け、冷凍水産物の開発による低利用魚等の活用推進（補助金、委託料）4,386千円 ・炭素固定に重要な役割を果たす県産木材の活用と森林保全の推進（委託料、補助金等）31,528千円 ○持続可能な農林水産業を支える農山漁村、漁場の活性化 ・藻場の保全による水産資源の確保と海藻のブルーカーボンのクレジット化により漁村を振興（委託料、補助金等）8,815千円 ・野生鳥獣捕獲の推進 （委託料、補助金）　5,987千円	 ▲繁殖牛の畜舎  ▲ブルーカーボン創出の取組の推進 ▲ＣＬＴ木材 ▲鳥獣被害対策システム	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県産農林水産物産出額（+1.５億円） ②藻場の保全面積（+17.20ha） ③有害鳥獣の捕獲者数（+90人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/degidenkoufukin.html

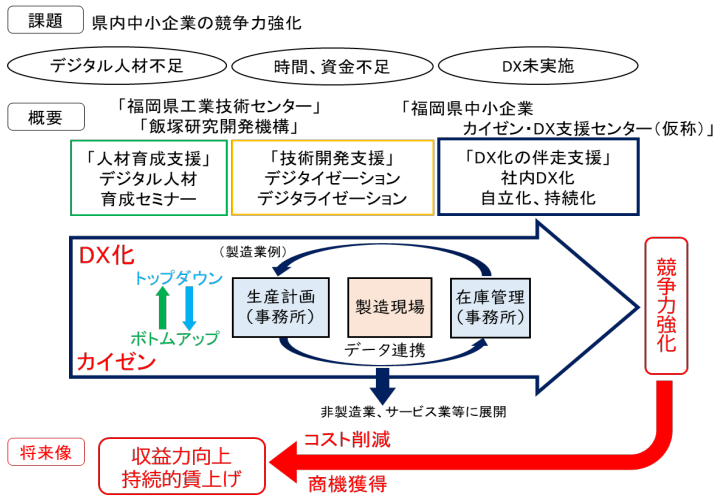
事業概要【FUKUOKA IS OPEN～選ばれる福岡県を目指し、新しい扉を開く～】 旧制度（推進）

申請者	福岡県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	172,805千円（56,249千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	• 海外人材が長期にわたって活躍することができる適正な労働環境の整備を図る • 留学生をはじめとした高度人材の県内就労促進を図る • 世界から海外人材を呼び込むことで、成長著しいアジアを中心とした海外の活力を本県に取り込み、ともに発展していくことで、「世界から選ばれる福岡県」の実現を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○海外人材獲得促進強化事業 ・トライアルインターンシップ等の実施（委託料）17,012千円 ・ウェブサイト運営、合同企業説明会等の実施（負担金）7,300千円 ○金融機関をはじめとした海外企業誘致事業 ・福岡への誘致プロモーションの実施（負担金等）5,608千円 ・海外における誘致活動の実施（委託料）9,504千円 ○アントレプレナーシップ人財育成事業 ・グループワーク、企業訪問等の実施（負担金）6,536千円 ○特定技能外国人材等の確保・定着に係る最新の法令や在留資格等についての周知・啓発事業 ・特定技能外国人材受入相談窓口の設置（委託料）7,079千円 ・企業向け講習会の開催（委託料）1,727千円 ・出張相談員による企業訪問の実施（委託料）422千円 ・専用ホームページの運営（委託料）1,061千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内外国人労働者数（＋16,096人） ②留学生の県内就職者の増加数（＋5,190人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/degidenkoufukin.html

事業概要【福岡県における中小企業・小規模事業者の販路開拓及び商品開発力向上のためのテストマーケティング促進による地域活性化推進事業】

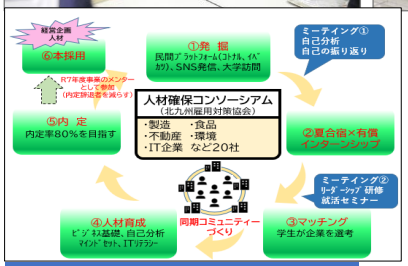
申請者	福岡県						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	188,164千円 （40,164千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	• 県内中小企業・小規模事業者の地域の特性を活かした商品を取り扱うアンテナショップ「DOCORE（どおこれ）」事業をリニューアルし、事業者の商品ブラッシュアップや販売売上の増加につながるデータの詳細なマーケティング分析を強化することにより、収益の向上を図る。 • 稼げる中小企業・小規模事業者を増やし、地域に定着する雇用の創出に繋げる。							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 DOCOREショップの取組をより効果的にするため、行政、商工団体、大学、マスコミ、銀行など地域の多様な意見を反映しながら、中小企業・小規模事業者が、販路拡大と商品開発をより積極的かつ効果的に行うための詳細なデータ分析に取り組むことで、地域全体で中小企業・小規模事業者の稼ぐ力を向上させ、地域経済の活性化を図る。 【ソフト事業経費】 〇多様な主体が参画するDOCOREショップ店舗運営会議による販路拡大に係る事業 ・店舗運営会議に係る費用（補助金）1,500千円 〇テストマーケティング事業 ・DOCOREショップの運営、広報に係る費用 （補助金）34,164千円 ・展示会等への出展に要する費用 （補助金）4,500千円								
地域の多様な主体の参画	行政、商工団体、大学、マスコミ、銀行など地域の多様な意見を反映しながら、詳細なデータ分析や高度なマーケティング分析、店舗のデジタル化や消費者意見の収集、商品広報などの取組を行うことで、中小企業・小規模企業者の売れる商品作りの支援方法を改善する。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業に参加した事業者の事業所内の最低賃金の上昇　（＋153円） ②本事業に参加した事業者の内、収益が向上した事業者の割合の向上（＋50%） ③本事業に参加した事業者の内、販路が拡大した事業者の割合の向上（＋50%）

事業概要【中小企業の競争力強化に向けたDX化総合支援事業】

申請者	福岡県						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	552,430千円 （170,927千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	「デジタル人材育成支援」、「デジタル技術開発支援」、「DX化の伴走支援」の総合支援策を通じて、福岡県内の中小企業が、自立したカイゼン及びDX化に向けた取組の継続により競争力を強化し、飛躍的な収益力向上につなげ、持続的賃上げ等を実現する好循環を創出する。							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○DX化に向けたデジタイゼーション・デジタライゼーションを推進するための経費。 ・福岡県工業技術センターにおいて、「人材育成」と「技術開発」の両方からの支援を実施　34,912千円（報償費、講師旅費、需用費、使用料、委託料等）、　備品費　2,557千円 ・飯塚研究開発機構において、現場技術者を対象とした「人材育成」支援委託料　24,787千円 ○DX化に向けた伴走支援に要するための経費 ・「福岡県中小企業カイゼン・DX支援センター(仮称)」において、中小企業のカイゼン及びDX化に向けた総合支援 委託料　108,671千円								
地域の多様な主体の参画	地域企業の協力の元、カイゼンやデジタル化の豊富な経験と知識を持つ人材を「福岡県中小企業カイゼン・DX支援センター(仮称)」のアドバイザーとして招聘。支援活動で得られた課題や改善点を支援策に反映。 地域の大学、企業等と連携してデジタル技術開発やデジタル人材育成を推進。様々な立場からのアドバイス、ニーズ・要望等を支援策に反映。 地域の信用金庫と定期的に情報交換を実施。支援企業の掘り起こしを行うとともに、地域企業のニーズ・要望を支援策に反映。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①年間の従業員１人あたりのコスト削減・商機獲得額　（＋150千円／人） ②中小企業におけるDXの実践割合（＋20.5%） ③カイゼン及びDX化支援企業数（＋225社） ④デジタル人材育成セミナー参加者数（＋3,000人）

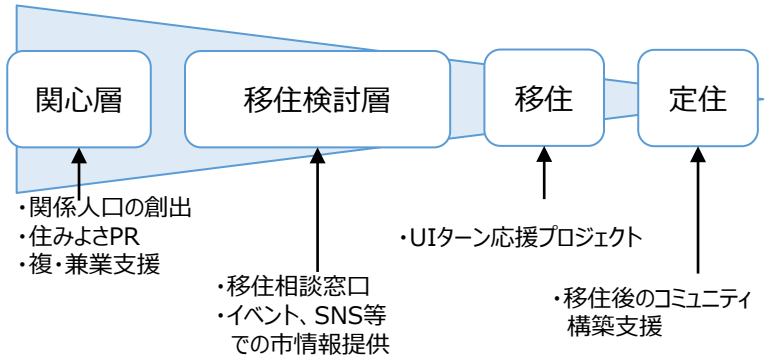
事業概要【新卒者市内就職応援プロジェクト ～キャリア形成段階に応じた就職支援～ 】

旧制度（推進）

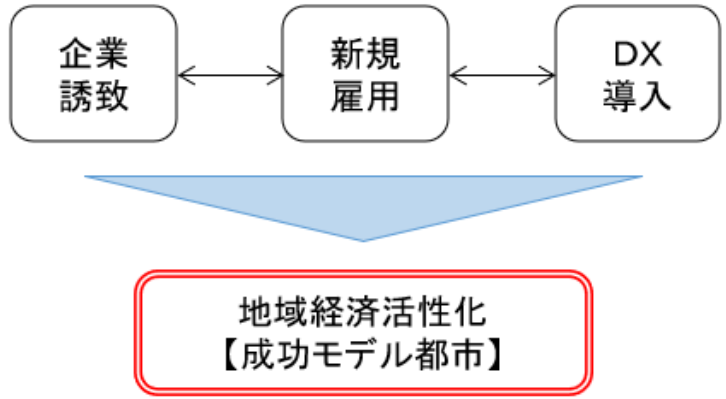
申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和３年度第１回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	441,745千円（83,300千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	中学・高校・大学等と早期からキャリア形成の段階に応じた事業を展開し、継続的に企業や仕事の魅力に触れる機会を提供することで職業観を醸成するとともに市内企業への興味・関心を高める。また、市外や留学生を含めた幅広い学生を対象とした事業展開や企業の新卒採用力の向上、就職に影響を与える教員等への働きかけなど、全方位からのアプローチにより、市内企業の若年層の人材確保を図るとともに若年層の市内定住・還流を促進する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○就活前学生向け事業 ・職業観の醸成・市内企業の認知度向上を図るためのイベント等（委託費等）38,600千円 ・企業の魅力を体験するインターンシップ等事業（委託料）5,400千円 ○就活学生向け事業 ・採用選考につなげるための業界研究イベント等（委託費）4,300千円 ○就職前学生及び就活学生向け広域展開事業 ・九州・山口一円の学生就職支援（委託費）6,000千円 ○企業向け事業及び保護者・教員向け事業 ・企業への採用力向上支援（委託費等）27,600千円 ・保護者・教員への市内就職PR（委託費）1,400千円	【上図】市内企業の認知度向上を図るためのイベント  【下図】企業への採用力向上支援	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内企業への新卒就職者数（＋700人） ②インターンシップ参加者数（＋180人） ③インターンシップ参加企業数（＋50団体）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要【ポストコロナの北九州市版「生涯活躍のまち」事業】

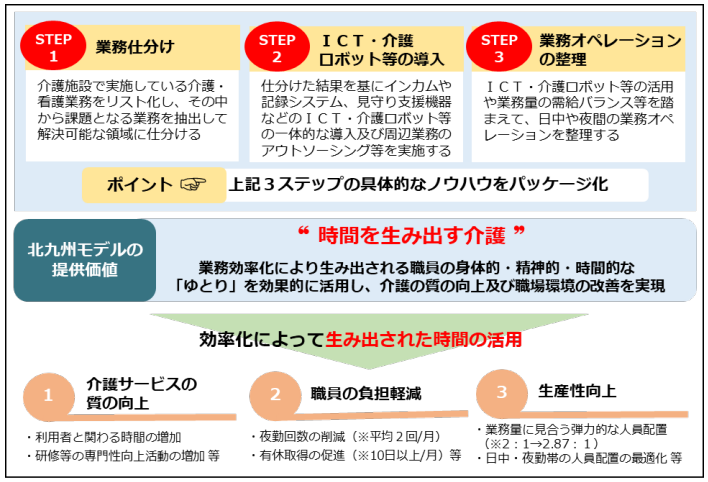
旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和３年度第１回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	383,505千円（54,312千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・首都圏等に北九州市の魅力を発信することで、関係人口の創出、北九州市への人の流れをつくるとともに、移住希望者のニーズに応じた就業支援や雇用の創出等を通じて、市内産業の活性化を図り、生涯活躍のまちの実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	●ポストコロナの全世代型定住・移住促進事業 ・定住・移住の支援（委託費）7,100千円 ・定住・移住促進PR（委託費等）1,355千円 ●移住者の視点による移住相談事業 ・移住相談窓口の設置・運営　7,000千円 ●北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト ・U・Iターン職業紹介等実施業務（委託費）　13,500千円 ●若者世代における首都圏関係人口創出事業 ・学生対象ワークショップ開催（委託費）　3,000千円	 ・暮らしと仕事の両面からの支援を実施 ・各段階に応じた支援により、移住者の不安解消を図る ・人流の好循環により、市内企業の人材確保、産業の活性化を図る	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①20～30歳代の社会動態改善数（令和元年基準）（＋970人） ②採用提案等によるU・Iターン就職決定者数（＋180件） ③複業・兼業のマッチング件数（＋80件）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要【企業の持続的発展・誘致による北九州地域経済活性化プロジェクト】 旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和３年度第１回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	725,150千円（132,652千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	• 首都圏のＩＴ関連企業等の誘致による新たな雇用の創出 • 市内企業のデジタル化の推進による生産性向上・競争力強化 • 雇用創出、生産性向上・競争力強化の取組等を通じて、地域経済活性化を実現		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○企業誘致の強化 ・ワーケーション推進事業費（委託費等）25,000千円 ○デジタル化の推進 ・専門家派遣費、広報費等、支援企業の成果・課題等の検証経費（委託費）38,900千円 ・中小企業のDX化導入補助（補助費）40,000千円 ○事業活動の下支え ・事業承継セミナー開催費（委託費等）3,360千円 ○オフィスリノベーションの促進 ・OAフロア化等の補助（補助費）　17,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内新規雇用創出数　（＋31,560人） ②企業誘致による新規雇用創出数（＋1,500人） ③ＤＸ導入企業数（＋200社）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要【感染症などに備え、安心して暮らせる地域共生社会促進事業】旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和３年度第１回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	301,887千円（46,250千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・感染症や自然災害が発生しても、住み慣れた地域で健康かつ安心して暮らせる地域・社会を構築する ・ICT・介護ロボット等を活用した「北九州モデル」の展開により、感染症に強い介護現場づくりに取り組む ・住民が主体となった新たな日常を支える健康づくりの価値観形成や活動促進を実施する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○先進的介護「北九州モデル」の推進 ・北九州モデルの展開（伴走型導入支援等） （委託費等）21,897 千円 ・感染症予防等に資する新たな先進的介護の取組み （委託費等）23,643 千円 ・介護ロボット等の開発・改良、普及・啓発 （委託費） 710 千円	 先進的介護「北九州モデル」の概要	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①北九州モデル導入を含む職場改善件数（＋25件） ②介護ロボット等導入施設数（＋63件） ③市民主体の健康づくり（地域でGO!GO!健康づくり）を実施するまちづくり協議会数（＋8団体）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要【人の流れや投資を呼び込む「新たな都市ブランディング」推進事業】

旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市ほか１８自治体	初回採択回	令和３年度第１回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	529,696千円（90,640千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	充実した都市インフラ等を有する北九州市が中心となって、北九州都市圏と山口県下関市を加えた、「北九州経済圏」のブランディングを一体的に行うことで、より多様なフィールドやプレイヤーの活用等を通じて、都市圏の価値向上、市外からの人の流れや投資を呼び込む。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○シティプロモーション推進事業 ・戦略的広報事業（委託費等）53,257千円 ・新しい街のイメージ発信プロジェクト（委託費）12,593千円 ・小倉駅を活用した都市イメージ発信事業　14,050千円 ○メガリージョン推進事業 ・北九州都市圏域連携事業（委託費）6,220千円 ・関門連携推進事業（委託費）1,320千円 ○クルーズ船誘致・受入事業 ・クルーズ船誘致・受入事業（負担金）2,200千円 ○良好な景観づくりの普及啓発、活動支援 ・良好な景観づくりの普及啓発、活動支援（委託費）1,000千円	 令和6年度「コクラBEAT」」にかかる小倉駅装飾の様子	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①小倉都心地区の歩行者通行量（456,140人） ②商業地区の空室率（▲2.5%） ③北九州市の魅力度ランキング（▲50位） ④関門エリア（下関市・北九州市）の観光客・宿泊客による観光消費額（33,225,000千円）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

※山口県下関市、福岡県直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町の広域連携事業

事業概要【地方創生SDGs達成に向けた企業へのSDGs実践推進事業】 旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	292,624千円（46,543千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・市内企業のSDGsの取組を誘発・加速する支援により、SDGsを意識、実践する企業の増加を図り、SDGsを原動力とした地域経済の成長を目指す ・市内企業のダイバーシティ経営の実装、地域貢献等を支援することで企業価値の向上を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○企業のSDGsの取組の誘発・加速支援 ・認証制度の運営（委託費）15,038千円 ・登録制度の運営（役務費）1,000千円 ・民間主導によるSDGs支援体制構築・運営・情報発信等（委託費）15,000千円 ○企業のダイバーシティ経営実装支援 ・ワークライフバランス先進都市推進事業（委託費等）767千円 ○地域貢献による企業価値向上支援 ・企業による防災人材育成事業（委託費等）1,188千円 ・企業と地域団体の活動支援事業（補助金）1,000千円	 民間主導（作成・運営）でメタバース空間を活用した交流会を実施	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①労働者の賃金上昇額（SDGsの実践等による企業価値向上を評価）（＋700円） ②「北九州SDGs登録制度」登録事業者数（＋1,000事業者） ③SDGs経営サポートの活用件数（＋125件） ④女性のキャリアアップ支援セミナーでのアンケート調査での満足度（「良い」、「大変良い」と答えた割合）（＋90%）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要【持続可能な商店街活性化事業】

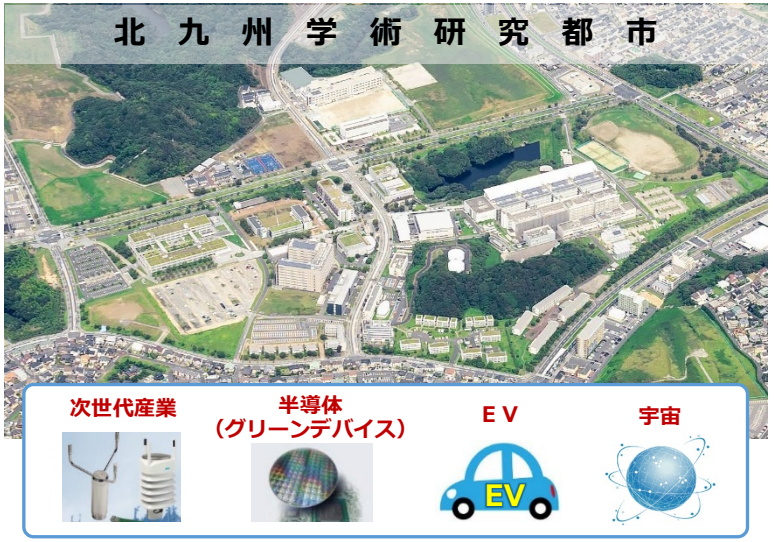
<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県北九州市</td><td>初回採択回</td><td>令和４年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R4-R8年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>186,300千円
（58,000千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">本市における人口減少及び少子高齢化や、商店街における消費や賑わいが落ち込む中、商店街や民間事業者等は、費用面やノウハウ・ネットワークの不足がネックとなり、イベント開催等の商店街活性化対策に踏み込めない状況である。そこで、行政の後押しにより、商店街活性化のための担い手育成、空き店舗対策、スタートアップ支援等を行うことにより、将来的に行政の支援がなくても自立・自走できる仕組みを作ることができれば、持続可能な商店街づくりにつなげることができる。また、地域や商店街主体の活性化策というロールモデルが普及することにより、他地域にも同様の動きが広がり、市内全域への波及効果が期待できる。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">【ソフト事業経費】
〇魅力ある商店街づくり支援事業
・商店街担い手人材育成事業　7,687千円（うち補助金4,000千円、その他講師報償費等3,687千円）
・商店街情報発信支援事業　　3,937千円（委託費）
・商店街活性化支援事業14,376千円
（うち補助金：13,740千円、その他会場使用料等636千円）
・テナントリーシング実行委員会負担金　5,000千円
〇新たな来北者をターゲットとした情報発信事業
・広報物等作成・掲載委託費　1,000千円
〇官民連携による街なか魅力向上事業
・中心市街地（小倉・黒崎）イベント補助金　20,000千円
・ナイトタイムに実施されるイベントへの補助金　3,000千円
・繁華街エリア出店・業態転換支援補助金　3,000千円</td><td colspan="3"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="5">北九州市の地域経済に精通している北九州商工会議所、産学官連携を推進している公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）、事業評価やまちづくりの学識を有する北九州市立大学、若者の視点を反映させることを目的にZ世代の有志に市から職を委嘱している「Z世代課パートナーズ」から助言や効果検証を受け、事業を効果的に進める。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①主要商店街における新規出店件数（＋29件）
②地元農林水産業者と商店街とのマッチング件数（＋25件）
③開催支援したイベントでの事業費収入（＋10,100千円）
④商店街周辺における歩行者通行量（黒崎地区）（＋6,000人）</td></tr>
</table>

事業概要【多様な人材の活躍による持続可能な社会構築推進事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県北九州市</td><td>初回採択回</td><td>令和４年度第１回</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R4-R8年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>388,877千円
（80,059千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">・大都市における高齢化の課題先進都市である本市において、孤独・孤立対策の先進的な取組を実施することで、持続可能で安心して住み続けられる地域社会のモデルを構築する
・本市で活動する多様な主体と行政、地域が連携、協働する包括的な支援体制を構築し、「地域共生社会」の実現を図る</td></tr>
<tr><td>事業概要・主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">〇孤独・孤立対策のためのプラットフォームづくり事業
・会議開催経費（報償費・会場使用料・需用費・委託費）1,655千円
〇障害者自立支援事業
・マッチング就労支援費（委託料・需用費・役務費・使用料）　43,924千円
〇新・外国人材の受入れ環境整備事業
・留学生支援及び地域と外国人市民との相互理解推進（報償費・委託料・役務費・負担金）1,720千円
・多言語情報の提供及び通訳支援（委託料）2,780千円
〇地域コミュニティ活性化推進事業
・セミナー、講座、プログラム開催経費（報償費、会場借上料、会場使用費、需用費、委託料、使用料、旅費）　3,950千円</td><td colspan="3"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な主体の参画</td><td colspan="4">北九州市の地域経済に精通している北九州商工会議所、産学官連携を推進している公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）、事業評価やまちづくりの学識を有する北九州市立大学、若者の視点を反映させることを目的にZ世代の有志に市から職を委嘱している「Z世代課パートナーズ」から助言や効果検証を受け、事業を効果的に進める。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①地域の多様な社会資源を活用した支援件数（+50件）
②孤独・孤立対策プラットフォームへの参加団体（+30団体）
③就労継続支援事業所の平均収入の増加割合（+20%）
④就労定着支援事業所の就労定着率80%以上の事業所割合（+9.47%）</td></tr>
</table>

事業概要【北九州学術研究都市を中心とした成長産業活性化事業】

旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和5年度第１回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	381,224千円（136,493千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	• 学研都市全体で半導体・自動車産業をはじめとした成長産業の高度化や脱炭素・グリーン成長に取り組み、新たな都市ブランド確立を目指す。 • カーボンニュートラルのまちづくりに取り組むことで、地域企業等にいち早く脱炭素社会に向けた各種チャレンジができるプラットフォームを提供し、ビジネス拡大を支援する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○カーボンニュートラル学研都市の構築 ・EVのリース（賃借料）299千円 ○研究開発の拠点化・実証支援 ・研究開発プロジェクト支援事業（補助金）43,000千円 ・衛星データ利活用実証事業（補助金）20,000千円 ○成長関連企業誘致の促進 ・首都圏での学術研究都市フォーラム開催（補助金）5,000千円 ○人材育成・企業競争力向上 ①半導体産業の振興 ・ひびきの半導体アカデミーの開催 等（補助金）33,000千円 ②EV産業の拠点化への支援 ・EV化参入支援窓口の設置 等（補助金）9,014千円 ③宇宙産業の振興 ・啓発セミナーの開催、人工衛星製造拠点化に向けた調査 等 （委託費）26,180千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内新規雇用者数(成長産業企業)　（＋510人） ②企業誘致件数(学研都市内)　（＋17件） ③研究開発プロジェクト件数(学研都市内)（＋23件）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要【アフターコロナを見据えたクールジャパンによるまちづくり推進事業】

旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	644,943千円（161,100千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	北九州市に集積するクールジャパンコンテンツ関連施設や人材等の資源を活かし、世界的にも若者を中心に人気を持つクールジャパンコンテンツを活用した事業を推進することで、「関係・交流人口」の創出・拡大や関連産業の育成・活性化を図り、北九州市の社会動態をプラスにすべく地域社会の好循環を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○北九州国際映画祭の開催 (映画祭での上映、ゲスト招聘イベント、作品の翻訳等の企画・運営) ・映画祭運営費（負担金）20,000千円 ○映画・ドラマコンテンツを活用したフィルム・コミッション事業 ・撮影誘致に向けたプロモート（委託費）2,800千円 ○松永文庫での企画展・デジタルアーカイブ実施（委託費）9,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ｸｰﾙｼﾞｬﾊﾟﾝ関連事業実施による経済波及効果（＋110,373万円） ②ｸｰﾙｼﾞｬﾊﾟﾝ関連ｲﾍﾞﾝﾄ参加者数　（＋101,000人） ③ｸｰﾙｼﾞｬﾊﾟﾝ関連施設入場者数　（＋48,017人） ④ｸﾘｴｰﾀｰ人材育成事業参加者数　（＋1,200人）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要【ロボット・DX推進センターを拠点とした、企業変革促進伴走支援事業】 旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	366,930千円（107,214千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	• ロボット・DX推進センターを核として、DX・グリーン成長に向けた企業変革を支援することで、脱炭素に資する新たなサービスの創出や新たな市場に参入する企業を増やし、市内企業の競争力を向上させる。 • また、雇用創出、生産性向上・競争力強化による地域経済活性化に取り組み、地方創生の「成功モデル都市」を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○企業変革（DX・グリーン成長）に向けた機運醸成 ・ロボット・DX推進センターの強化（委託費）55,000千円 ・コーディネータ派遣等（補助金） 10,839千円 ・GX推進事業（委託費） 4,000千円 ○企業変革準備支援 ・専門家派遣、横展開促進事業（補助金）12,275千円 ・人材育成事業（補助金）8,000千円 ○企業変革実践支援 ・企業変革促進補助事業（補助金）10,100 千円 ・スタートアップとのマッチング事業（委託料） 1,000千円 ・データ計測用IoT機器の導入（補助金）6,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①DX・グリーン成長に向けた計画実践企業数（＋220社） ②DX・グリーン成長を目指す企業を伴走支援した企業数（＋430社） ③ロボット・DX推進センターの取組みを紹介した企業数（＋300社）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要【「人への投資」をはじめとした企業の投資加速化支援事業】

旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	287,117千円（94,600千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	• 市内大学の知を活用したリスキリングスクールを開設し、企業変革に向けて経営者のマインドセットを行う • 現場リーダー等社内人材を対象としたスクールにより中小製造業の労働生産性の向上を図る • 市内人材および外国人材のインターンシップを実施して市内企業を知ってもらうことで、地域企業への定着を図る • ロボット導入やＤＸの推進により中小製造業の労働生産性の向上を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	・北九州DX推進スクール（補助金）20,000千円 ・市内企業調査（委託料）8,000千円 ・産業人材育成フォーラム（負担金）6,600千円 ・高度外国人材活用支援（委託料）7,000千円 ・九工大の知的資源を活用した地域連携（委託料）12,000千円 ・DX推進補助事業（補助金）10,000千円 ・ロボット導入前検証補助事業（補助金）6,000千円 ・ロボット導入支援補助事業（補助金）25,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内中小製造業の労働生産性（＋39千円/人） ②売上高または利益額で2倍増を計画する成長企業数（＋4社） ③リスキリング教育（生産性向上スクール）受講者数（＋440人） ④ロボット・ＤＸの実践件数（+210件）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要【北九州市観光産業育成・健全化推進事業】

旧制度（推進）

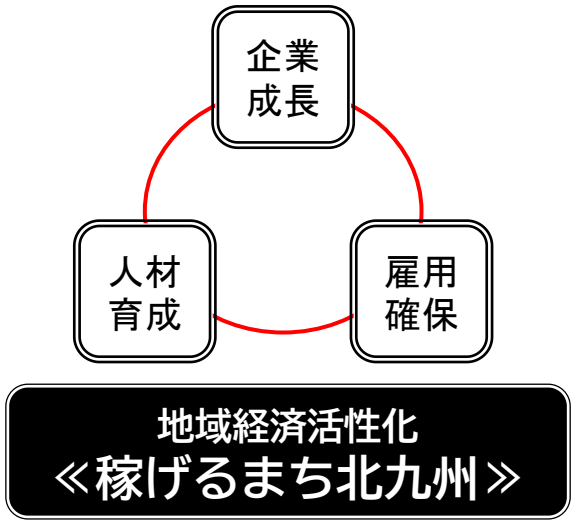
申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	299,592千円（99,592千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・観光事業者の育成や誘致、生産性向上による収益力アップを通じた観光消費額の増加と人材確保 ・食や祭等の地域資源の活用、ホテル誘致などを通じた高付加価値なサービスの造成による観光消費単価アップ ・公共交通事業者と連携した外国人観光客の北九州空港以外からの誘客、市域回遊・利便性高い仕組構築 ・民間（観光客）による観光情報の発信・拡散を最大限活用する仕組みへの移行		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○デジタルを活用したマーケティング機能強化　（委託料）10,000千円 ○すしをフックにした宿泊・周遊促進　（委託料等）4,000千円 ○旅の目的地となるような高付加価値ホテルの誘致 （委託料等）5,392千円 ○若松北海岸の自然を生かした体験型・滞在型観光の促進 （委託料等）7,200千円 ○インバウンドへの戦略的対応　（委託料等）55,000千円 ○コンサート誘致活動の支援　（負担金）10,000千円 ○古民家等既存ストックを活用・再生する滞在型観光の強化 （委託料）8,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（総額）　（＋61,533百万円） ②宿泊者の観光消費額単価（一人あたり）　（＋3,063円）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

事業概要【スタートアップ・グロースサポート事業】

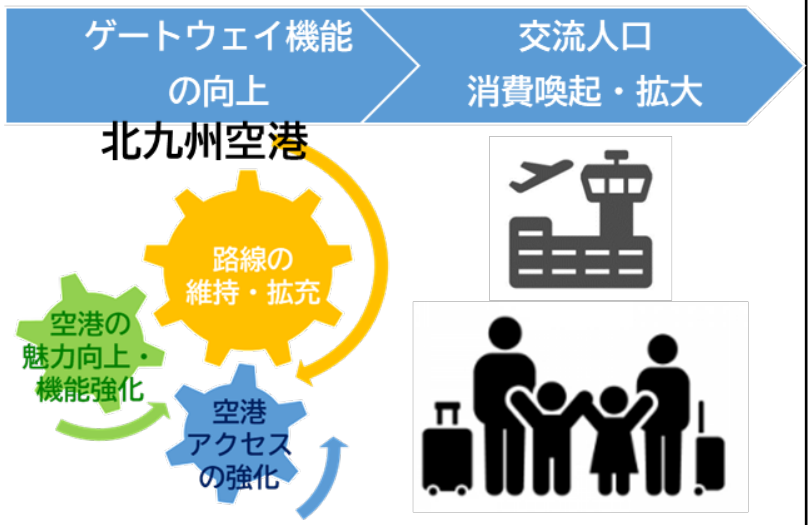
旧制度（推進）

申請者	福岡県北九州市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	219,672千円（94,492千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・市内スタートアップ（特にディープテック）の成長を加速化させ、世界で活躍し地域経済をけん引する企業を生み出す。 ・スタートアップによる行政の公共調達支援を行うことで、行政DXを加速させ、課題解決及び市民生活の向上を目指す。 ・スタートアップと市内企業（特にものづくり企業）との協業・オープンイノベーションを支援し、生産性向上・高付加価値化を目指す。 ・スタートアップ・市内企業の成長により、雇用創出・賃金底上げ等による「稼げるまち」を実現し、市内総生産・社会動態を改善する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○市内スタートアップの成長加速化に対する資金支援・伴走支援 ・研究開発・実証支援（委託料）14,000千円 ・事業展開支援（委託料）20,000千円 ○スタートアップによる行政課題解決・市内企業との協業に対する資金支援・伴走支援 ・行政課題の解決（委託料）17,528千円 ・市内企業との協業（委託料）23,964千円 ○受託事業者による事業運営（委託料）10,000千円 ○課題・ニーズとスタートアップをマッチングするプラットフォームの運営（委託料）4,000千円 ○機運醸成イベントの開催（負担金）5,000千円　等		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域におけるスタートアップの新規雇用者数（＋100人） ②売上高10億円以上に成長した市内スタートアップ（＋5社） ③市内スタートアップのエグジット（IPO又はM＆A）（＋3件） ④市内外スタートアップによる公共調達・市内企業とのマッチング（＋22件）	関連URL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/285_00036.html

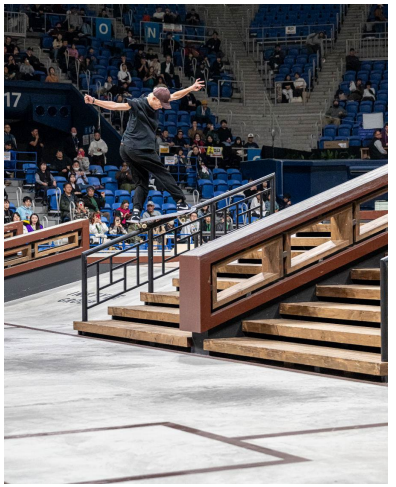
事業概要【地域の基幹産業・事業転換、人材育成・外国人の採用支援グループ事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県北九州市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>422,500千円
（91,700千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>ローカルイノベーション分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">・経済をけん引する地域中核企業への伴走支援など総合的・集中的支援によって成長促進を図る。
・市内企業への就職促進に向けて、「北九州リスキリングキャンパス」の開設や多言語で発信するＨＰの構築等による外国人の雇用など労働力の確保を図る
・「人的資本経営」の推進による企業価値向上や大学生に民間企業のノウハウを活用したＤＸ推進リーダー研修などによるＤＸ人材の増加・育成を図る</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">〇「未来を担う地域中核企業」成長促進プロジェクト
・伴走支援（委託料）　10,000千円
〇市内企業の人材のリスキリング
・座学プログラム構築・実施（委託料）　12,000千円
〇市内企業への就職促進
・福利厚生コンテスト（委託料）　5,000千円
〇人的資本経営の推進
・副業普及促進セミナー（委託料）　2,000千円
〇市内定着支援事業（学術研究都市）
・市内企業に対する理解促進費用（補助金）　2,000千円
〇外国人採用促進PR事業
・Webサイト新規作成・CMS導入（委託料）　3,680千円
〇地域のDX人材育成事業
・大学生リーダーズ研修等企画運営費　20,500千円</td><td colspan="3"> 
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">北九州市の地域経済に精通している北九州商工会議所、産学官連携を推進している公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）、事業評価やまちづくりの学識を有する北九州市立大学、若者の視点を反映させることを目的にZ世代の有志に市から職を委嘱している「Z世代課パートナーズ」から助言や効果検証を受け、事業を効果的に進める。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①新規事業着手等企業成長に取り組む企業数（＋75社）
②リスキリング実施人数（＋900人）
③多言語ＨＰを活用した雇用及び暮らしに関する情報閲覧件数（＋740件）
④地域のＤＸ推進リーダーとして育成する大学生数（＋100人）</td></tr>
</table>

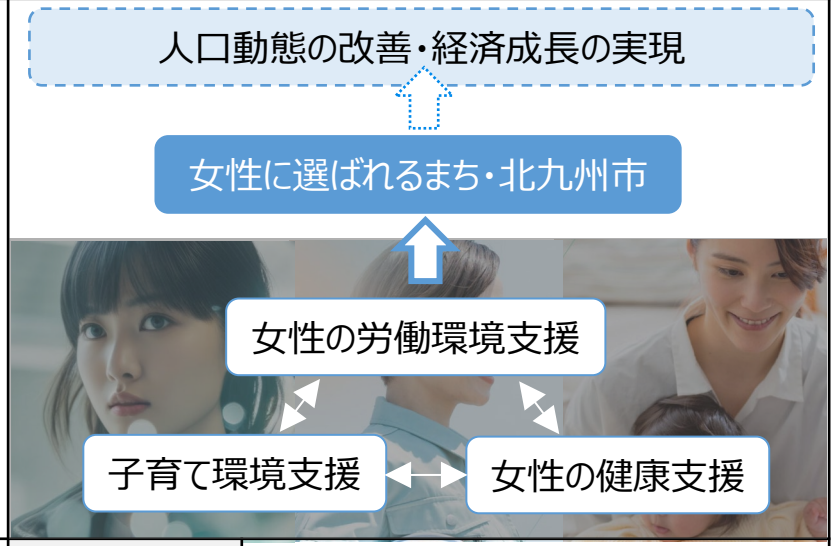
事業概要【北九州空港が国内外とつながり、街に交流と賑わいを生み出すスカイゲートウェイ構築事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県北九州市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>294,940千円
（149,980千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">・北九州空港のゲートウェイ機能（路線の拡充、空港の魅力向上、空港アクセスの強化）を高め、より多くの人を呼び込み、交流人口の拡大と消費喚起・拡大の好循環を生み出す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【事業概要】
九州・中四国で唯一の24時間空港である北九州空港は、本市と国内外との都市をダイレクトに結びつけ、人の往来による交流を生み出すとともに、地域の経済・社会の活性化を支える極めて重要な役割を担う基盤となっている。北九州空港のゲートウェイ機能（路線ネットワークの拡充）の向上に取り組み、より多くの人を呼び込み、交流人口の拡大と消費喚起・拡大の好循環を生み出していく。
【ソフト事業経費：民間活力導入の支援・補助金】
〇路線の拡充
・マーケティング・プロモーションの支援　14,800千円
〇空港の魅力向上
・空港におけるイベント実施等　50,000千円
〇空港アクセスの強化
・空港アクセスの最適化に向けたバス増便実証　85,180千円</td><td colspan="3"> 
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">北九州市の地域経済に精通している北九州商工会議所、産学官連携を推進している公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）、事業評価やまちづくりの学識を有する北九州市立大学、若者の視点を反映させることを目的にZ世代の有志に市から職を委嘱している「Z世代課パートナーズ」から助言や効果検証を受け、事業を効果的に進める。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①就航路線数　（＋8路線）
②旅客利用者数（+825千人）
③空港来館者数（+989千人）</td></tr>
</table>

事業概要【スポーツを通じたまちのにぎわいづくり創造事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県北九州市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>759,749千円
（229,749千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">大規模国際スポーツ大会等の誘致・開催を通して、市外・国外からの交流人口の増加を図り、まちの賑わいを創出するのに加え、エコフレンドリーで（地球にやさしく）、インクルーシブな（誰にでもやさしい）社会の実現などの、本市特有の新しい都市ブランディングを全世界に発信する。また、「日本一若者を応援するまち」北九州市が、「アーバンスポーツの聖地」を目指し、多くの若者の来訪によるまちのにぎわいづくりや、市民のアーバンスポーツへの理解促進、若者を応援する機運醸成に取り組む。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">〇スポーツコミッション（いつでもだれでもスポーツAction）推進事業
（１）誰でもAction! パラスポーツフェスティバル　大会開催経費
（「車いすバスケットボール」「ボッチャ」「ふうせんバレーボール」などの体験会等の開催）【負担金（委託費） 3,000千円】
（２）スポーツコミッション事業（世界卓球選手権等の誘致）
【負担金（委託費）2,549千円】
（３）ラグビーウェールズ代表チーム等招致
【負担金（委託費）6,200千円】
〇アーバンスポーツの普及・促進事業
（１）スケートボードの大規模国際大会の誘致・開催
【負担金（委託費）200,000千円】
（２）アーバンスポーツ事業実施
（街中へのトレーニングセンター設置に向けた調査及び研究）
【負担金（委託費）18,000千円】</td><td colspan="3">  </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">北九州市の地域経済に精通している北九州商工会議所、産学官連携を推進している公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）、事業評価やまちづくりの学識を有する北九州市立大学、若者の視点を反映させることを目的にZ世代の有志に市から職を委嘱している「Z世代課パートナーズ」から助言や効果検証を受け、事業を効果的に進める。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">ＫＰＩ①　主要な中心市街地の歩行者通行量（＋18479人）
ＫＰＩ②　スポーツを身近に感じる市民の割合（＋15.36%）
ＫＰＩ③　スポーツ実施率（＋8.04%）
ＫＰＩ④　スポーツ観戦率（＋12.00%）</td></tr>
</table>

事業概要【「女性に選ばれるまち北九州市」実現に向けたまちづくり推進事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県北九州市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>93,696千円
（31,232千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>働き方改革分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">・労働・子育て・健康のいずれの場面においても女性が希望する自らの在り方を実現できる環境を整備し、「女性に選ばれるまち・北九州市」を実現することで、北九州市に住む女性の増加・人口動態の改善・経済成長の実現につなげる。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">〇女性の視点を生かした都市課題解決事業
・プロジェクト運営経費・会場使用料（委託料）10,000千円
〇「女性の労働環境」支援事業
・広報・発信経費（委託料）2,500千円
・専門家派遣経費(補助金）500千円
〇「子育て環境」支援事業
・アンケート実施経費（委託料、役務費、需用費）2,000千円
・子育て支援活動経費（補助金）2,000千円
・人件費（報酬・職員手当・共済費）3,732千円
〇「女性の健康」支援事業
・実態調査・啓発（委託料）9,000千円
・セミナー開催費（委託料）1,500千円</td><td colspan="3"> 
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">北九州市の地域経済に精通している北九州商工会議所、産学官連携を推進している公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）、事業評価やまちづくりの学識を有する北九州市立大学、若者の視点を反映させることを目的にZ世代の有志に市から職を委嘱している「Z世代課パートナーズ」から助言や効果検証を受け、事業を効果的に進める。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①社会動態改善数（＋334人）
②健康経営を推進する市内企業等の数（＋758団体）
③「子育てしやすいまち」と思う子育て当事者の割合（＋0.6%）</td></tr>
</table>

事業概要【半導体・未来産業集積促進事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県北九州市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>1,356,965千円
（235,943千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>ローカルイノベーション分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">・産学連携による研究開発支援や高度人材育成を進めるとともに、産業振興の核となる半導体関連メーカーの誘致、地域の半導体関連企業の成長促進、サプライチェーンの構築などにより、未来を担う重点分野である半導体・次世代自動車・蓄電池、宇宙など関連企業の更なる集積促進、学術研究都市を中心とした未来産業創出を進め、裾野の広い産業集積を目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">【事業概要】
北九州市の産業の未来を見据え、未来を担う重点分野である半導体・次世代自動車・蓄電池、宇宙など関連企業の更なる集積促進、学術研究都市を中心とした未来産業創出を進め、裾野の広い産業集積を目指す。
【ソフト事業経費】
〇半導体メーカーの誘致
・半導体サプライヤー集積計画の策定（委託料） 8,500千円
・海外誘致プロモーションの実施（実費） 8,832千円
〇航空物流サプライチェーンの構築・活性化・強靭化（補助金）
・物流ネットワークの確立と戦略的な貨物の集貨 172,061千円
・通関等国際航空物流機能の構築 38,600千円
・鉄道と航空による複合輸送の構築 450千円
・誘致・広報プロモーション活動（実費） 2,000千円
〇研究開発基盤の形成
・学術研究都市のあり方に係る調査等（委託料）5,500千円</td><td colspan="2"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="5">北九州市の地域経済に精通している北九州商工会議所、産学官連携を推進している公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）、事業評価やまちづくりの学識を有する北九州市立大学、
若者の視点を反映させることを目的にZ世代の有志に市から職を委嘱している「Z世代課パートナーズ」から助言や効果検証を受け、事業を効果的に進める。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td>①先端企業の集積（＋12社）
②北九州空港の国際貿易額（＋990億円）</td></tr>
</table>

事業概要【地域ポイント事業「ふくおかポイント」による地域活動の活性化及び担い手の育成】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県福岡市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>70,653千円
（26,059千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">善意で取り組むボランティア活動に対してポイントを付与、地域活動を見える化することで、地域活動を担う人材の発掘や、市民、企業、NPO法人等多様な主体が地域全体で支えあう関係の構築を支援し、地域活動の活性化及び担い手の育成につなげる。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="3">【事業概要】
地域の多様な主体によるボランティア活動に、ポイントを付与する仕組みを構築し、ポイントの付与と利用の循環を通じて、地域活動の活性化及び担い手の育成、多様な主体が身近な地域の課題解決などに主体的に参画するまちづくりを推進するもの。

【ソフト事業経費】
〇「ふくおかポイント」アプリおよび管理システムの機能強化（委託料）
25,080千円
〇機能強化の具体化に向けた多様な主体へのヒアリング（報償費）
979千円</td><td colspan="4">
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="3">地域住民（自治会や町内会）による防災・防犯や環境美化などのボランティア活動へのポイント付与に加え、企業やNPO法人、社会福祉協議会や民生委員など、地域の多様な主体によるボランティア活動に、ポイントを付与する仕組みを構築する。
仕組み構築時に、地域の多様な主体を対象としたワークショップやヒアリングを実施する。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①市民によるボランティア活動などへの参加率（＋2.48%）
②新たに地域活動へ貢献した企業等の数（＋60事業者）
③地域社会のボランティア活動に参加してポイントを付与された人数（＋65,000人）
④本事業の導入小学校区数（＋76校区）
⑤刑法犯認知件数（▲2,310件）</td></tr>
</table>

事業概要【アーティスト・カフェ・フクオカ拡張事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県福岡市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R8年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>429,600千円
（399,600千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td></td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">• アーティストの成長・交流拠点「Artist Cafe Fukuoka」を拡張し、アーティストからの相談や企業とのマッチング、アーティスト同士や市民との交流を促すイベント、レジデンス事業をはじめとした滞在アーティストの制作・展示など、施設の機能充実を図ることで、まちづくりにおいて、アートやアーティストが活躍する機会を増やす。
• 市民のwell-beingの向上を目指すとともに、国内外のクリエイティブ企業に選ばれる都市になる。</td></tr>
<tr><td>事業概要・主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【事業概要】
統廃合した中学校跡の校舎を活用し、令和４年度に開設したアーティストの成長・交流拠点「Artist Cafe Fukuoka」は、２年半の活動で認知度も上がり、利用ニーズも高まってきているが、スペースが限られ十分なアーティストの成長支援が実施できていない。そこで、統廃合後10年近く倉庫としてのみ利用していた校舎を改修し、本施設の機能拡充を図るもの。

【拠点整備事業経費】
〇アーティストの成長・交流拠点を拡張（統廃合中学校跡の校舎活用）
・建築工事　210,000千円
・設備工事　189,600千円</td><td colspan="3"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な主体の参画</td><td colspan="4">　地元経済界や大学などと連携して、アーティストの活躍の機会を創出するとともに、産学官勤労言士からなる審議会において意見をいただくとともに、事業に関する情報提供を行っていく。
　また、交流拠点を整備することで、これまでアートに触れることのなかった主体との交流を促進する。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①アーティストと企業のマッチング数　（＋20件）
②Artist Cafe Fukuokaへの来訪者数
（＋4千人）</td></tr>
</table>

事業概要【スタートアップ海外展開支援事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県福岡市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>170,358千円
（56,786千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>ローカルイノベーション分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">• 海外展開を視野に入れる起業家の育成やスタートアップの創出を図る。
• グローバルマインドの醸成や海外におけるビジネスノウハウを習得することで、効果的なビジネスマッチングにつなげ、海外におけるビジネス成立案件を創出する。
• 海外で活躍するスタートアップを創出し、海外の需要を取り込むことを目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="3">【事業概要】
海外展開を視野に入れた起業家の育成と、スタートアップに対する海外展開サポートを実施。

【ソフト事業経費】
○ 海外展開プロセスの習得や個別メンタリングを通じて、海外でのネットワークづくりやマーケティング、ビジネスノウハウ等を習得し、海外スタートアップイベントに参加時等の効果的なビジネスマッチングにつなげるための事業を実施
・海外展開支援プログラム（委託料）26,786千円

○ 有望な研究シーズ・スタートアップに対し、海外展開に向けた継続的なメンタリング及びビジネスマッチングを実施
・グローバルアクセラレーションプログラム（委託料）30,000千円</td><td colspan="4"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="3">メンタリングやマッチングなどの支援により、スタートアップの海外展開をサポートする。
スタートアップ支援機関からの意見を確認し、事業内容への反映に取り組む。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①プログラムを通じた海外ビジネス成立件数（＋2件）
②プログラムを通じたビジネスマッチング支援件数（＋20件）
③海外アクセラレーターと連携したプログラムへの参加件数（＋15件）
④海外展開に向けた相談対応件数（＋90件）
⑤海外の投資家、アクセラレーター、スタートアップ等の誘致件数（＋６件）</td></tr>
</table>

事業概要【若い世代の人材と地域企業の育成を核とした若い世代に選ばれるまち形成事業】 旧制度（推進）

申請者	福岡県大牟田市	初回採択回	令和３年度第１回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	363,060千円（36,061千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	• 開放的なイノベーション拠点を整備し、新たな交流やネットワークを生む仕掛けづくりを進め、次世代の人材育成を図る。 • 若い世代の本市の地域経済や地域企業への興味・関心を深め、定住人口や関係人口の創出を図る。 • IT企業などの情報関連産業の企業誘致を進め、若い世代の働く場所の選択肢を広げる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○開放的なイノベーション拠点を整備し、産学官金による多様なソフト事業を展開 ・ソフト事業の実施（補助金等）6,000千円 ・大牟田市ビジネスサポートセンターの設置（利用料等）3,734千円 ・大牟田市ビジネスサポートセンターにおけるセミナー開催（講師謝金・使用料等）626千円 ○若い世代に選ばれ、地域企業のデジタル化を支える情報関連企業等の誘致 ・誘致の展開（補助金・需用費等）8,811千円 ○地域企業の魅力向上に向けたデジタル化、成長戦略・イノベーション創出への支援 ・イノベーション創出支援の実施（補助金等）12,640千円 ○協議会等が実施する多様なソフト事業の展開による拠点施設との相乗効果の創出 ・事業プロモーションと連携支援等に係る協議会の運営（負担金等）2,000千円 ・福岡地域戦略推進協議会との連携（負担金等）50千円 ・eスポーツ等のデジタル技術を活用した事業（委託費等）2,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①拠点施設利用者数（＋4,450人） ②イノベーション創出促進事業の実施 （ビジネスマッチング、交流事業など）（＋30回） ③貸しオフィス入居数（＋11件） ④新事業創出（技術開発、新商品開発、創業、協業など）（＋8件）	関連URL	https://www.city.omuta.lg.jp/list00990.html https://au-rea.com/

事業概要【選ばれるマチとシゴトに向けた魅力向上・プロモーション事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県大牟田市</td><td>初回採択回</td><td>令和６年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R6-R8年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>175,800千円
（69,700千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>地方への人の流れ分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">若者や官民連携組織との連携・協働によるまちなか活性化や、新商品や観光に係る体験プログラム等の開発による選ばれるモノ・コトの創出に取り組み、若者がいきいきと活躍する姿等を積極的にプロモーションするとともに、地域企業への就業促進するための取組を展開することで、移住・定住の促進を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">〇まちなか活性化の推進
・まちなか再生テーマのシンポジウムや学生アイデアコンペによる事業提案の社会実装に向けた取組等の実施　25,800千円
・若者が集まることができる場の提供とマルシェ等イベントの実施　2,955千円
・空き店舗や空家等の活用に向けた調査・講演、ストックの流通促進に向けた老朽危険家屋の除去等の実施　5,695千円
〇マチ・シゴトのプロモーション
・市の魅力を発信するための動画等の作成　500千円
・地域企業の魅力を発信し、就職に結びつけるためのソフト事業の展開　6,450千円
・地域企業の魅力や情報を伝えるイベントや地域企業合同での面談会等の実施　12,000千円
〇選ばれるモノ・コトの創出
・商品開発・販路開拓に向けた専門家へのコーディネート委託と事業者を支援する補助金の交付　8,300千円
・市内事業者のオンライン販売促進に向けたECサイトの開設　3,000千円
・体験プログラムや回遊イベント等を開発する観光コーディネーターの配置　3,000千円
・体験プログラムや回遊イベント等のプロモーションの企画・展開　2,000千円</td><td colspan="2">
 </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="5">（一社）アーバンデザインセンターおおむたや、大牟田わかもの会議と連携し、施策や事業の追加・見直しを図る。
高専や大学との包括連携に基づく取組や本市まち・ひと・しごと創生有識者会議、市政記者クラブや在福メディアによる、様々な見地から事業実施について意見を吸い上げ、事業内容の改善に取り組む。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td>①相談対応を行った者のうち、本市へ移住した件数（＋80件）
②企業の合同による面談会及び会社説明会の来場者数（＋480人）
③テレビや雑誌で紹介された件数（＋400件）
④新たに創出・魅力向上した商品・サービス・イベント等の件数（＋24件）</td></tr>
</table>

事業概要【大牟田市動物園を核とした延命公園周辺エリアの魅力向上事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県大牟田市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>694,364千円
（371,223千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>観光分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">• 延命公園周辺エリア内にある「大牟田市動物園」及び「御大典記念グラウンド」の整備、及び市内の周遊性を高める取組を推進することで、観光消費額の増加を図る。
• 動物園及び御大典記念グラウンドの魅力を向上させ、来園者・利用者の増を目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【ソフト事業経費】
〇回遊促進のためのまちの魅力アップと市内外へのプロモーション
・HP、PRチラシ及び観光パンフレットの作成（委託料等）1,500千円
・情報発信拠点の運営・イベント等の実施（委託料・負担金等）950千円
・観光消費動向調査（委託料・負担金等）1,500千円
〇ライティングによる回遊性の向上
・事業構想・計画立案経費（委託料等）10,000千円
【拠点整備事業経費】
〇動物園の園舎整備、デジタルサイネージ設置
・施設整備　216,571千円
〇御大典記念グラウンド整備
・施設整備　140,702千円</td><td colspan="3">
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な主体の参画</td><td colspan="4">観光、物産（飲食）等の事業者（団体）との連携と、積極的な情報発信、動物園の指定管理者によるイベント実施を通して、域内消費拡大の取組を推進する。
市内外へのプロモーションについて、地域おこし協力隊や市政記者クラブや在福メディアと連携し、本市の魅力を発信する。
地域振興に関わる取組を行っている大牟田まちづくり市民会議や本市まち・ひと・しごと創生有識者会議において、様々な見地から事業実施について意見を吸い上げ、事業内容の改善に取り組む。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①地域における観光消費額　（＋2.1億円）
②動物園への来園者数（＋15,000人）
③実施するイベントへの参加人数（＋1,680人）
④動物園の売り上げ（＋1.3億円）
⑤御大典記念グラウンドの年間利用者数（＋10,324人）</td></tr>
</table>

事業概要【「新たな日常」における地域間連携による「民需」「人の流れ」創出プロジェクト】 旧制度（推進）

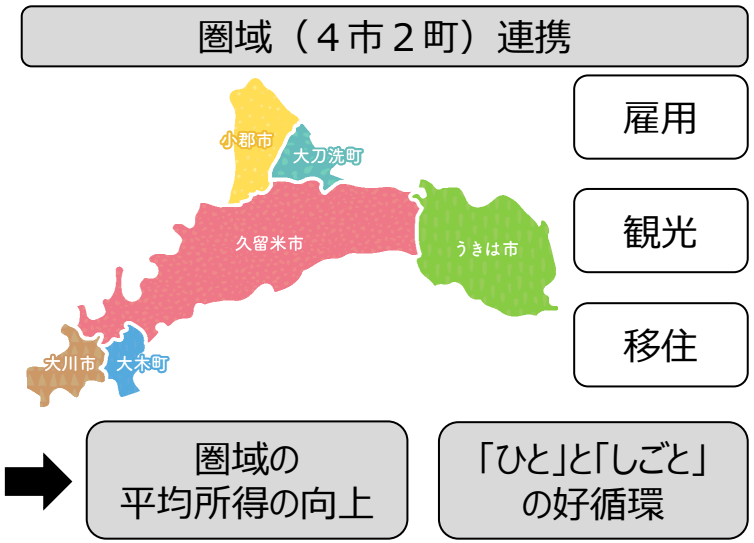
申請者	福岡県久留米市の他５自治体	初回採択回	令和３年度第１回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	1,607,566千円（274,899千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	新型コロナウイルス感染症による「新たな日常」において、圏域市町のＤＸ推進等による民需主導による成長や雇用の創出、観光消費額の増加により、圏域の平均所得の向上を実現していく。併せて、圏域市町の連携による移住定住の推進や観光客の確保といった「ひと」の流れを創出し、その「ひと」が交流し、移住・就業等を通じて、「ひと」と「しごと」の好循環化を実現していく。		

事業概要・主な経費

※経費内訳はR7年度事業費

【事業概要】
圏域が抱える課題等を踏まえて、ウィズコロナやアフターコロナを見据えた「新たな日常」のもと、圏域の平均所得の向上や「ひと」の流れを創出、「ひと」と「しごと」の好循環化を実現するために取組を進める。

【主な経費】
○地域産業の経営基盤の強化と雇用・就労の促進（138,155千円）
・企業に対するＤＸ化支援（委託6,600千円）
○地域資源の磨き上げ（29,151千円）
・商業空間や賑わいの場の創出と地域資源活性化（委託料3,611千円）
○観光・ＭＩＣＥのプロモーションの展開（48,173千円）
・インターネットや情報誌、イベント、オンライン等様々な手法を活用した観光・プロモーション（補助金3,528千円）
○魅力の発信・シティプロモーションの展開（59,420千円）
・ラジオやＴＶ、オンライン等様々な手法を使用した情報発信（補助金11,010千円）



KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

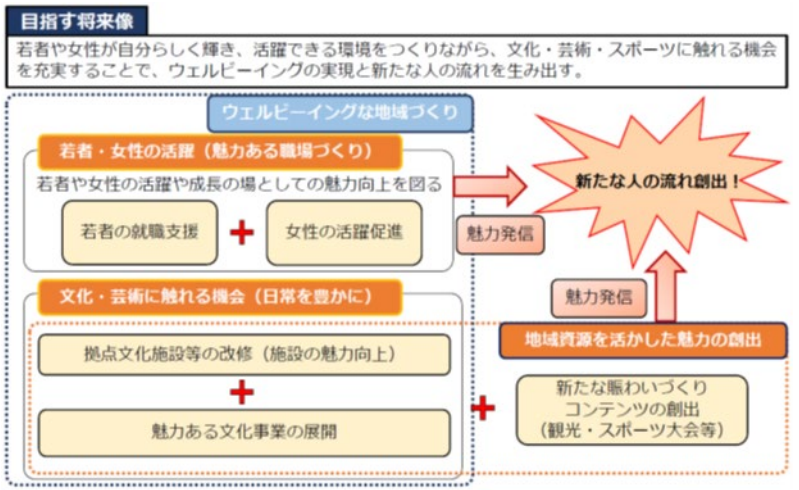
①圏域の就職者数　（+823人）
②圏域の直接消費額（＋3億円）
③圏域の人口と人口推計の比較（＋8,920人）

関連URL

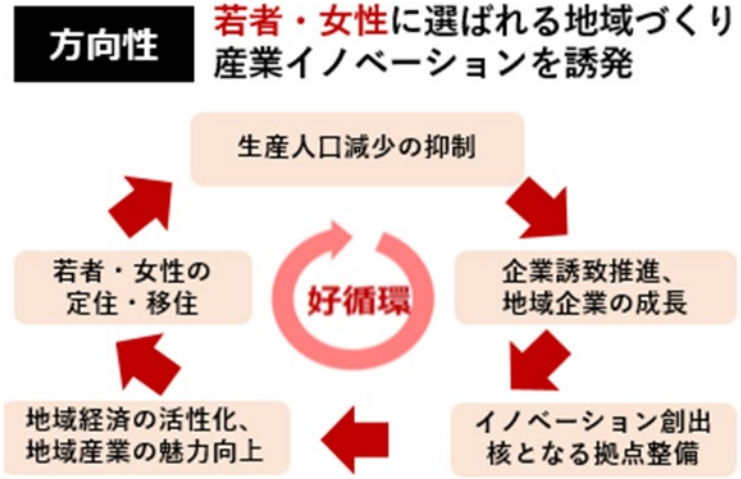
久留米市
https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1100keikaku/2045keikaku/3015sousen/
大川市
https://www.city.okawa.lg.jp/s007/010/020/020/20160225145825.html
小郡市
https://www.city.ogori.fukuoka.jp/1139/1146/1207
うきは市
https://www.city.ukiha.fukuoka.jp/list00232.html
大刀洗町
https://www.town.tachiarai.fukuoka.jp/page/page_01323.html
大木町
http://www.town.ooki.lg.jp/kankyo/jitisougoukeikaku/7673.html

※福岡県久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町の広域連携事業

事業概要【楽しく働き楽しく暮らす　ウェルビーイングなまちづくりプロジェクト事業】

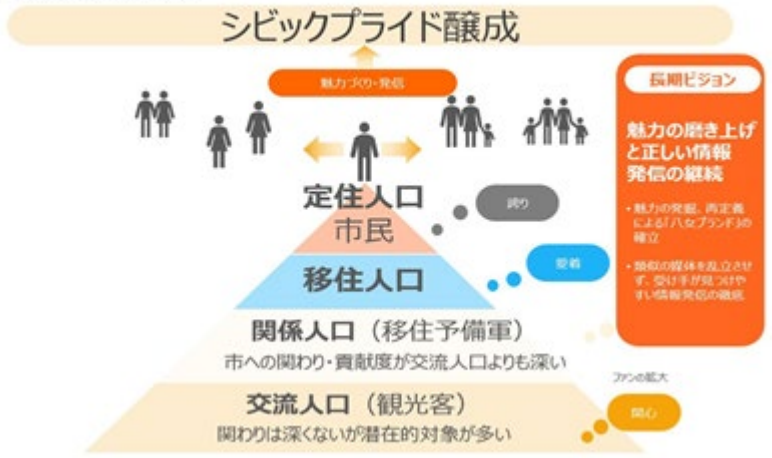
<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県久留米市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>590,679千円
（264,171千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>地方への人の流れ分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">• 市内企業の労働環境向上や、女性の活躍に繋がる各種取組によって、働きやすいまち久留米を目指す。
• 拠点施設の整備・改修や活動支援等により、市民誰もが文化・芸術・スポーツに触れ楽しむ機会を確保する。
• 市の拠点文化施設や地域資源を併せてブラッシュアップしながら、観光コンテンツとして効果的な事業展開を図ることで、新たな人の流れを作るとともに、地域としてのウェルビーイングの向上を目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="3">【事業概要】
若者や女性に選ばれる魅力的な地域を形成するため、働きやすさ等の促進を図るとともに、楽しく豊かに暮らせる環境づくりとして拠点文化施設の整備を行う。また、文化・芸術・スポーツ等あらゆる分野で事業の拡充等を図りながら、市内外に向けた魅力あるコンテンツの創出と情報発信していく。
【ソフト事業経費】
〇若者・女性の活躍促進と雇用の場の確保
・ワークライフバランスの促進（補助金）2,000千円
〇あらゆる人の文化・芸術・スポーツに触れる機会の確保
・石橋文化センター庭園整備（工事請負費）76,473千円
・石橋文化センター魅力向上の取組（補助金）32,345千円
〇地域資源を活かした市外からの誘客促進
・世界ブレイキン選手権の誘致（負担金）10,000千円
〇人を呼び込むための久留米の魅力発信
・インフルエンサーを活用した観光PR（委託料）3,600千円</td><td colspan="4"> 
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="3">市内企業における女性や若者が働きたくなるような職場環境の整備においては、関係団体から専門的な見地でご意見をいただきながら、事業内容をブラッシュアップさせていく。また、文化・芸術・スポーツに触れる機会の充実や中心市街地の活性化を図るため、事業を実施する各事業主体と意見交換をしながら、市内全域において環境整備も含めた魅力的な事業展開を図っていく。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①労働者数（＋3,111人）
②市中心部文化施設利用者数（＋10,000人）
③直近1年で文化芸術に関する鑑賞や活動した市民の割合（＋2.5%）</td></tr>
</table>

事業概要【くるめの経済成長・活力創出プロジェクト事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県久留米市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>422,648千円
（112,868千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>ローカルイノベーション分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">・若者や女性にも選ばれる地域を実現するため、地域経済が活力にあふれ、競争力を持ち、新たな価値を生み出していく好循環の実現を目指す。
・経済活動の核となる中心部施設の整備を進めることで経済を活性化と賑わいを創出し、地域経済の好循環を生み出す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【事業概要】
地域企業の成長を促すとともに、経済の核となる中心部の機能強化に向けた再整備計画の作成を進める。
【ソフト事業経費】
〇企業の付加価値の向上支援
・中小企業成長経営支援補助金　9,800千円
・産業技術振興事業費補助金　24,228千円
〇雇用の場の確保
・都市圏での企業誘致展示会　3,016千円
〇農業の魅力向上
・６次産業化等チャレンジ支援補助金　3,900千円
〇持続可能な農業経営を支援
・就農定着サポート補助金　2,400千円
〇経済の核となる中心拠点整備
・再開発基本計画作成業務委託　15,000千円</td><td colspan="3"> 
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">商工会議所や金融機関などとの連携により中小企業の生産性向上や経営改善に関する相談・支援を行うとともに、さまざまな研究分野をもつ大学と連携し、新産業分野の研究・検討を行い、地域経済全体の成長の促進、経済の活性化による地域経済の好循環につなげていく。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①労働者数（＋3,111人）
②農業算出額（＋1.5億円）
③中心市街地における歩行者通行量（＋8,303人）</td></tr>
</table>

事業概要【地域資源を活用した持続可能な八女市ブランド構築事業】

旧制度（推進）

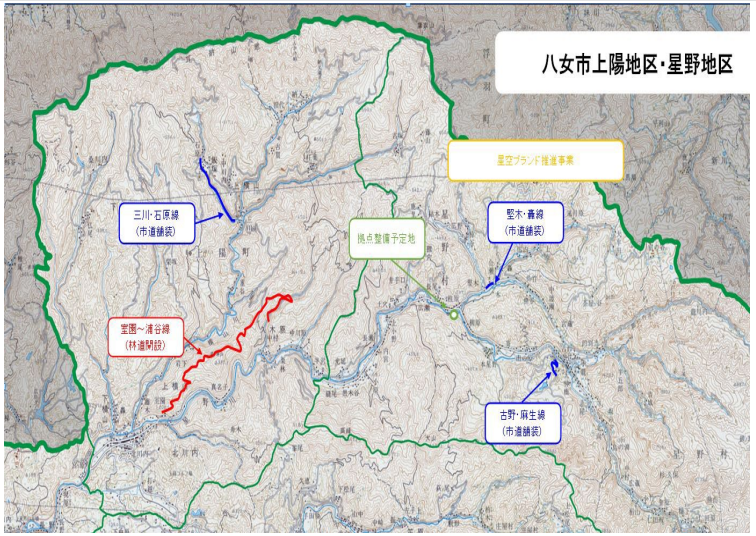
申請者	福岡県八女市	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	73,053千円（12,350千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	八女市ブランドの構築・共有が出来ていない、情報発信における地域住民の参画がなされていない、若年層への訴求が不足しているという課題を解決するため、戦略を立てたうえで、分野横断的な情報発信を行っていく。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○住民参加型シティプロモーション事業 ・住民参加型魅力発信事業の実施（委託費・需用費）3,850千円 ○若年層に向けた八女市の観光・農産物・文化・ふるさと納税・移住定住情報による八女市ブランドのプロモーション ・パンフレット（電子雑誌）・動画等の発信（委託費）8,500千円	・全体概念図  	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①八女市の観光入込客数（+730千人） ②八女市の全国魅力度ランキング（-125位） ③八女市の20代・30代の転入者数（+190人/年） ④魅力発信隊員（市民ライター）による記事発信件数（+185件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/8/chihousousei/1500000249735.html

事業概要【ヘリテージ・タイムトラベル：古き良き町並み魅力拡大プロジェクト】

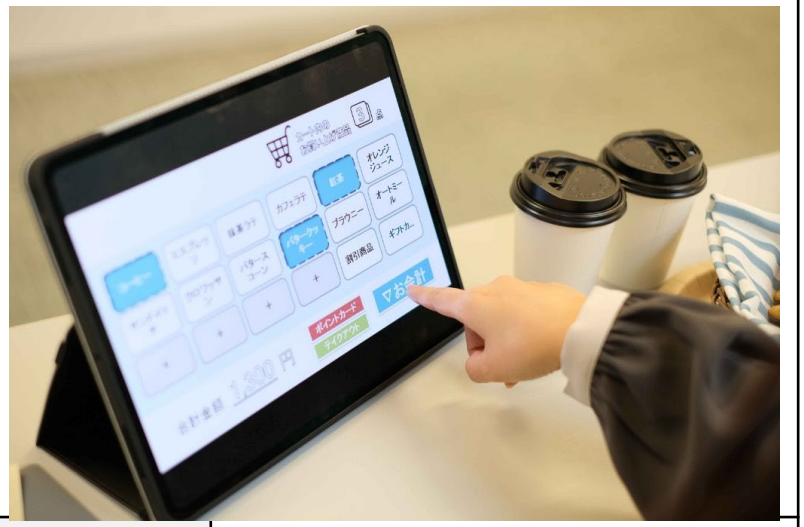
旧制度（推進）

申請者	福岡県八女市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	16,402千円（3,592千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	伝統的建造物群保存地区の平日の閑散さや認知度の低さを解決することを目的に、魅力向上と地域誘客促進を目指します。インフルエンサーによる認知度拡大の展開により、町並みに新たな活気をもたらし、観光客増加により地元経済に波及することで、地域全体を活気づける。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 伝統的建造物群保存地区（八女福島・黒木）を観光目的地としての認知度を拡大するためにインフルエンサーを招聘し、動画等の制作と配信をおこなう。 【主な経費】 伝統的建造物群保存地区プロモーション業務委託料：3,592千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（旧八女+旧黒木）（＋1,800万円） ②横町町家交流館来館者数（＋1,800人） ③横町町家交流館SNSフォロワー数（＋900万人） ④観光入込客数（旧八女+旧黒木）（＋9千人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/8/chihousousei/1500000249735.html（R7.9掲載予定）

事業概要【 誇りをもち・安心して住み続けられるまちづくりプロジェクト 】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">八女市・福岡県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R11年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>1,337,611千円
（58,951千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td>✓</td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">・買い物を含めた総合的な生活支援・行政代替・災害対応等の複合的な機能を持つ中山間地域生活維持拠点施設を民間主体で建築する。また、接続する林道・市道を整備することで、災害避難や物流の維持確保、木材搬出路として活用するとともに、星空のブランド化により地域住民の愛着を高め持続可能な地域を目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">【ソフト事業経費】
〇星空ブランド推進事業
・星空保護区認定申請に係る調査、星空保護に関する機運醸成・啓発イベントの実施　1,750千円
【拠点整備事業経費】
〇八女市中山間地域生活拠点施設
　中山間地域の買い物環境の維持向上のため、住民の交流の場となり、魅力的で買い物に行きたいと思える場所づくりを行や、買い物に行けない方にも自宅から買い物できる環境を提供
・土地造成費　８,601千円
【インフラ整備事業経費】
〇森林管理道室園～浦谷線の開設事業
　整備する拠点への安定的なアクセスの確保などを実施
・事業費　48,600千円</td><td colspan="3"> 
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="5">〇関連事業を行っている大学と連携し、星空ブランド推進事業を実施する。
〇産官学金労言の地域の代表者に委員として参画いただき、事業の効果検証・改善を行う。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①上陽・星野地区における社会減数（外国人を除く）　（-25人/年）
②星野地区の観光入込客数（＋20.5千人）
③県道八女香春線の日交通量（＋885台）
④孤立集落数（-21戸）
⑤林道室園～浦谷線の利用区域内の木材搬出量（+200㎥）</td></tr>
</table>

事業概要【八女市商工業者総合支援事業「ひろがる・つながる・やめしごと」】

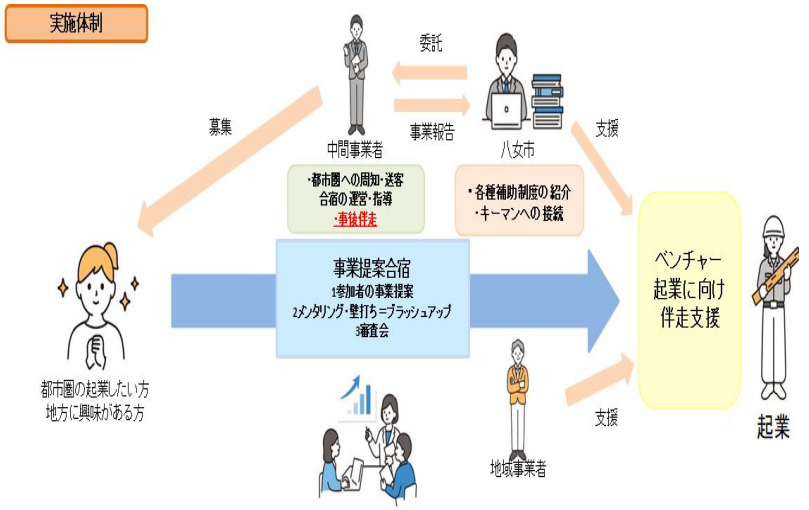
<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県八女市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>44,412千円
（18,097千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>ローカルイノベーション分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">• 地域経済の活性化や雇用創出の要である地域産業の生産性向上と発展を実現する。
• 都市圏で就職した若者のＵターン等を促進し、地元企業の人材不足を解消する。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">【事業概要】
〇商工事業者が社会経済の変化に対応していくための生産性向上に向けたＤＸへの取り組みを支援する。
〇商工事業者が新規創業などで活用できる施設の掘り起こしのため、商店街を中心とした空き施設・店舗の一体的調査を行い、地域活性化を図る。
〇市内中小企業への就職・転職の促進を図るため、学生向けの「企業紹介冊子等」の作成を行う。また、採用を目的としたPR動画作成に対する支援を行う。
【ソフト事業経費】
〇商工業者ＤＸ支援事業
・ITツール導入費用（補助金）10,000千円
〇空き店舗活用支援事業
・空き店舗調査、サイト構築等（委託料）1,155千円
〇企業プロモーション動画作成支援事業
プロモーション動画制作にかかる費用（補助金）2,250千円
〇中小企業紹介冊子等作成事業
企業の取材・原稿作成・冊子印刷費用（委託料）4,692千円</td><td colspan="2">  </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="5">八女商工会議所、八女市商工会と連携し、事業者のＤＸ支援に取り組む。
空き店舗の調査については、商工会議所、商工会及びその会員からの情報収集をはじめ、不動産事業者の情報を収集し、八女市内の空き店舗サイトを構築する。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td>①市内従業者数　（＋650人）
②商工業者ＤＸ支援事業補助金申請数（＋60社）
③空き店舗掲載数（＋90社）
④企業プロモーション動画作成支援事業補助金申請数（＋45社）</td></tr>
</table>

事業概要【八女ふたつの暮らしプロジェクト】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県八女市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>33,820千円
（23,920千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>地方への人の流れ分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">・都市と八女市との二地域居住を推進し、八女市における関係人口・半定住人口の増加を図る。
・関係人口の増加によりレジャーや買い物などの消費の増加を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【事業概要】
・都市部を中心に子育て世帯をマッチングし、２～３週間地域の保育所・居住施設で受け入れを行う保育園留学事業を実施
・宿泊機能付き農園（クラインガルテン）を整備し、都市部住民の「二地域居住」「就農」を促進
【ソフト事業経費】
〇保育園留学事業（委託料）8,250千円
〇クラインガルテン事業（委託料）15,670千円</td><td colspan="4">
保育園留学

クラインガルテン</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">〇地元短大の協力のもと、保育園留学の環境整備を行う。
〇地域金融機関が、クラインガルテン事業の資金調達や事業拡大に関するアドバイスを担う。
〇地域おこし協力隊のＯＢ／ＯＧを中心に、キーマンとの接続・ノウハウ共有を行う。
〇事業設計に関し、地域の農業者が参加するワークショップを開催する。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①転入超過数（＋60人）
②二拠点居住世帯数（本事業のみ）（＋12世帯）
③観光消費額（＋528万円）</td></tr>
</table>

事業概要【八女市ローカルベンチャー創生事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県八女市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>51,399千円
（10,967千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>ローカルイノベーション分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">八女市内の各ステークホルダーを巻き込んだローカルベンチャースクール（仮称）を立ち上げ、都市圏在住の地方に興味がある・起業したい潜在層を募集し八女市へ集客し、伴走支援することで起業するサイクルをつくる。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【ソフト事業経費】
〇ローカルベンチャー導入に向けた現地調査・体制構築事業
八女市の特性を活かした効果的なローカルベンチャー制度の構築を図るため、ベンチャーマーケットの調査分析、ステークホルダー巻き込み・機運醸成のためのワークショップ、検討会議の実施・育成プログラムの開発・方針の作成を行うもの。
（委託費：10,967千円）</td><td colspan="4"> 
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">〇産官学金労言の地域の代表者に委員として参画いただき、事業の効果検証・改善を行う。
〇ローカルベンチャーの事業審査にもかかわってもらうことで、地域に定着する起業を目指す。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①八女市における新規事業者数　（＋30人/年）
②八女市への転入者数（＋130人/年度）
③ローカルベンチャースクール（仮称）応募者数（＋15人）</td></tr>
</table>

事業概要【ネットとリアルの融合で実現する地方創生！「大川ブランディングサイト」を基軸とする、【人の流れ】【まちの元気】【稼ぐ力】創出プロジェクト】

申請者	福岡県大川市						初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R7年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	410,679千円 （162,307千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	「人の流れ」「まちの元気」「稼ぐ力」の創出に向け、ネットとリアルの融合による産業・観光振興等施策の再構築 ・6次化商品開発及び観光資源の磨き上げ（人の流れの創出分野） ・大川家具発祥地まちなみの拠点整備及びインバウンド誘客（まちの元気の創出分野） ・ネットとリアル両面での市場開拓（稼ぐ力の創出分野）							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○オリジナルブランド育成・創出業務(補助金：5,000千円) ○リバーサイド観光活性化事業として、体験型観光の開発や新たなイベント実施等(委託料：10,000千円) ○観光インバウンド拠点施設の整備 （１）工事監理業務(3,630千円) （２）保存修理工事費(68,427千円) ○「藩境のまち」町家・古民家再生・利活用事業 （１）ソフト事業補助金(9,250千円) （２）インフラ整備事業補助金(24,000千円) ○家具発祥地へのインバウンド誘客事業(補助金：7,500千円) ○リノベ職人集団プロモーション業務(委託料：4,500千円) ○首都圏ポップアップストア運営事業(補助金：25,000千円)							
地域の多様な主体の参画	本事業の運営組織である実行委員会は、市・観光協会・木工関連団体・JA・地元ＮＰＯ・牽引企業・金融機関等、多様なメンバーで構成し、民間企業等のノウハウやネットワークを活用し事業の実効性や収益性を高めていく。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①大川市公式オンラインショッピングサイト販売金額（＋75,000千円） ②観光入込客数（＋39万人） ③木工発祥地旧吉原家住宅来訪者数（＋4,500人） ④OKAWAブランド認定商品数（＋50商品）

事業概要【行橋市室内型子どもの遊び場整備事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="5">福岡県行橋市</td><td>初回採択回</td><td colspan="2">令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="5">R7年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td colspan="2">415,259千円
（415,259千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td></td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td colspan="2">まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">本市は、令和 2 年に策定した人口ビジョン（第２次行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略）において、特に合計特殊出生率の向上を重点施策と位置づけ、若者や子育て世代が選びたくなるまちづくりに取り組み人口減少の緩和を図り、人口規模が縮小しても快適に暮らしていけるまちづくりを見据えた施策展開に努めている。本施策において、民間商業施設の空きスペースを活用し、子育て世代から非常にニーズの高い子どもの遊び場を整備し、未就学児・小学生の体力や運動能力の向上を図る。また、利用する子どもや保護者の交流の場を提供することにより、子育てしやすいまちづくりを進める。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">市内の民間商業施設3Fの空きスペースを借り、天候に左右されることなく体を使って思いっきり遊ぶことのできる大規模な全天候型遊戯施設の整備を行う。敷地面積約1472.89㎡の広大な空間に、据え付け型大型遊具やアスレチック遊具等を設置する。また、当施設の1、2Fは商業施設として稼働しているため、集客増により地域での消費向上も見込める。
【建築物本体工事】　88,220千円
【建築物と不可分な設備工事】 96,954千円
【設備整備工事】　230,085千円
・遊具設備整備工事　164,076千円
・ネットワーク工事　1,650千円
・デジタルコンテンツ設備　55,550千円
・入退館管理システム　8,809千円</td><td colspan="3">
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="5">市内の民間商業施設を活用する事業であり、定期的に情報共有の場を設け協議を行うことで、行政としては当該施設の利用者増や利活用を推進し、商業施設側としては集客力向上に繋げていき双方が連携して施設の活性化を図る。また、大学・地銀・連合・市民等を構成員とする行橋市まち・ひと・しごと創生有識者会議に毎年度諮り、本事業に対する意見や助言を吸い上げ事業実施に反映させていく。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">① 本市に移住した子育て世代の人数（25～49歳）（＋150人）
② 施設の利用者数（＋47,500人）
③ 行橋市子育て支援アプリ登録者数（＋1,500人）</td></tr>
</table>

事業概要【「行橋市魚市場」水産物流通拠点整備事業】

申請者	福岡県行橋市						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	224,642千円 （224,642千円）
経費の類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	農林水産分野
目的・効果	・第６次行橋市総合計画の主要施策の中に掲げられている、「憩い・レジャー・観光の振興」と「既存産業の次世代への継承」を目指し、地域の観光資源である食の安定供給と水産物の流通拠点である魚市場の機能を強化し、第1次産業・第２次産業の付加価値向上を図る。							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【施設名称】 行橋市魚市場　活魚水槽施設 【整備内容】 鉄骨造　平家建　延べ　199.68m2　74,195千円 【整備内容】 機械設備　活魚水槽ユニット（７ｔ）　5基　　125,400千円 【整備内容】 アスファルト舗装　延べ　2,270.00m2　14,191千円 【整備内容】 水産物加工設備　フィレマシン　1基　　10,615千円 【事業内容】 インターネットバンキングおよびデジタル決済システム導入事業 ソフト整備費　241千円							
地域の多様な主体の参画	魚市場運営会社は、施設を整備することで取り扱う活魚の量や種類を増やすことができ、加工品の開発・販売にも取り組み、販路開拓を推進する。また、イベントを開催してもらい、本市の観光・経済の活性化に貢献できる。 小学生のキャリア教育の一環として市場の見学会を実施し、水産業への理解を深め、将来の担い手確保に繋げる。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①水産物取扱金額（+34百万円） ②活魚の取扱割合（+5.6%） ③新たに活魚出荷を始めた魚種数（+4魚種） ④魚市場関連イベントの参加人数（+560人）

事業概要【ゆくはしシティプロモーション事業】

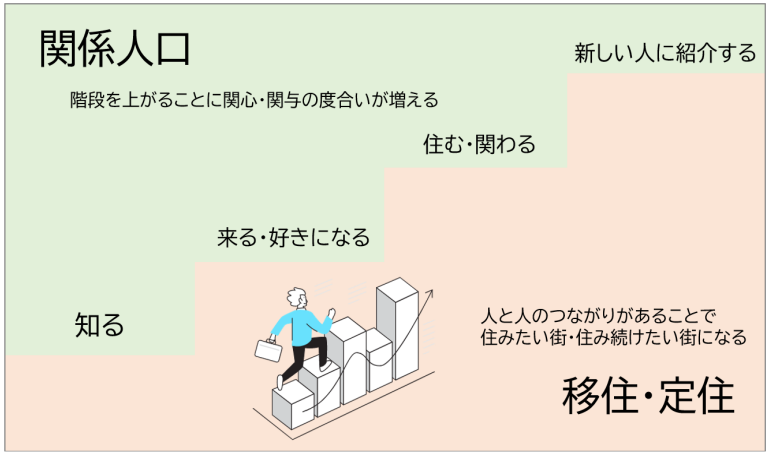
<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県行橋市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>33,800千円
（13,800千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>地方への人の流れ分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">・行橋市の魅力や特色を域外にアピールして、地域イメージの向上や地域経済の活性化を図る。
・行橋市の「住みよさ」をPRすることで移住者・定住者を増やす。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【ソフト事業経費】
〇総合パンフレット作成事業
・多言語対応した観光パンフレットの作成（委託）　9,349千円
〇魅力発信事業
・関東圏で実施される各種イベントへの参加
（役務費・消耗品）1,351千円
・関係団体への情報提供（通信費）100千円
・情報発信動画の作成（委託）500千円
・特産品の開発及び高付加価値（委託）500千円
・魅力PR委託（委託）2,000千円</td><td colspan="4">
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">企業、大学、金融機関、労働組合の各分野に加え、市民代表者から会議を通じて本事業に対する意見や助言を提供してもらい、事業の進捗、効果検証をおこない、利用者の増加や施設の利活用について協議を行っていく。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①人口の社会増　（＋300人）
②観光パンフレット等の配架数(＋4,500部)
③SNS等の動画閲覧数（＋3,000,000回）</td></tr>
</table>

事業概要【Re:ぶぜんプロジェクト　サーキュラーシステムが紡ぐ豊前版小さな拠点2.0】

旧制度（推進）

申請者	福岡県豊前市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	404,313千円（134,445千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・日常生活の機能に着目したシェアリングサービスができる拠点の創出により、拠点の利用活性化を図る ・「ヒト・モノ・カネ」が拠点を循環するために、デジタル技術を用いた移動の最適化を図る ・地域ポイントの構築により、共助の見える化が進むなど多くの人が関わり助け合う環境を目指す ・特色のある拠点づくりを進め、拠点内外、市内外からも関係人口の創出拡大を通し担い手の創出育成を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○拠点と拠点、拠点と人を繋ぐための組織形成・育成等の経費 ・コミュニティ創出・支援（委託料）17,050千円 ・サーキュラー事業併走支援等（委託料）35,853千円 ○移動交通の全体把握と最適化に向けた試行 ・拠点移動・交通システム試行（委託料等）6,732千円 ○デジタル技術を活用した基盤の構築 ・地域活動等推進ポイントシステム等（仮称）構築試行（委託料）20,000千円 ○特色ある拠点・コンテンツ作りによる関係人口創出 ・Re:ぶぜん事業伴走支援等（委託料）19, 087千円 ・Re:ぶぜん事業関係人口創出拡大費（広報・イベント開催経費等）9,556千円 ・市民活動団体への事業企画運営、講座等関係経費（委託料、補助金）　16,088千円 ・地域資源魅力向上価値創造事業（委託料、借上料）　10,079千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①世帯数　（+75世帯） ②小さな拠点の整備数数（+16箇所） ③小さな拠点の利用者延べ人数（+5,900人） ④小さな拠点における売上高（+16,000千円）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.buzen.lg.jp/sousei/rebuzen.html （効果検証） https://www.city.buzen.lg.jp/sousei/tihousouseijigyou.html

事業概要【大野城市シティプロモーションアクションプランに基づくシティプロモーション事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県大野城市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>74,795千円
（53,553千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">・ChatGPT等の生成AIの普及などにより、新しい働き方など人々の価値観や行動様式の変容が見られることから、社会事情をふまえた人口減少克服の取組を進め、次代を担う世代の定住人口の確保とまちの活力を維持していく。
・本市では転入超過率が福岡都市圏の自治体と比較して高いことから、地域の中で人の入れ替わりが急速に起こっており、地域活動を支える担い手の高齢化や固定化が懸念されているため、居住地を問わず地域を支える関係人口を創出する。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">〇ターゲットが求めている情報に特化したブランディングサイトを制作し、本市の魅力を明確に伝える。
・ブランディングサイトの制作（委託料）40,774千円
〇ターゲットが、本市の魅力を具体的にイメージできるようにターゲットのライフスタイルに応じた動画と冊子を制作する。
・プロモーション動画と冊子の制作（委託料）9,790千円
〇本市への関心度の高さや地域貢献の実績について評価する制度（地域検定等）を通して、本市への愛着形成につなげる。
・市民参加型ワークショップの実施（施設使用料）39千円
・地域検定の制作（委託料）500千円
〇大野城ファンクラブを設立し、居住地を問わずに市内外住民が関わりを持てる環境を整備する。
・大野城ファンクラブの設立（使用料、委託料）2,450千円</td><td colspan="4">全体概念図
 
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">本事業は、市民参加型ワークショップ等を通して、地域住民の意見を施策に反映させるほか、産・官・学・金・地域で構成される外部有識者等による診断・評価を通して、各分野の専門的な視点も施策に反映させる。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①転入超過率（＝転入者数÷転出者数）（＋15%）
②プロモーション動画の再生回数（＋5,400回）
③若年層（15～34歳）の住民参加型ワークショップ参加者数（＋40人）
④ファンクラブ会員数（＋1,000人）</td></tr>
</table>

事業概要【地域ブランディングによる観光の促進】

旧制度（推進）

申請者	福岡県宗像市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	43,290千円（10,900千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	• 道の駅をリニューアルし、特産品の開発や積極的な情報発信を進めることにより、観光消費額の増加を図る。 • 若者に選ばれる稼げる農業を構築し、労働人口の６割を占める１次産業従事者の所得向上を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【「食のまちむなかた」の推進】 〇市内外の認知度向上と消費拡大の取り組みを一体的に行う ・地元産米をつかった米粉活用、普及促進、食育講座開設（委託料） 1,200千円 ・むなかたフェア開催(委託料） 6,000千円 ・フェアPR動画製作等(委託料） 700千円 【コト消費推進】 〇体験型コンテンツの拡充としてサイクルツーリズムの推進を行う。 ・サイクリングイベント等の体験型観光コンテンツや周遊ツアーの造成など（委託料） 3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光による市内消費額 （＋2,342百万円） ②道の駅むなかたの来場者数（＋78,395人） ③道の駅むなかたの売上 （＋79百万円） ④農産物直売所「かのこの里」の売上（+41,537千円）	関連URL	市公式ホームページ https://www.city.munakata.lg.jp/ むなかたNow(シティプロモーションサイト) https://www.citydo.com/prf/fukuoka/munakata/

事業概要【インキュベーション施設を核としたデジタル人材の育成とワーケーションによる関係人口創出事業】

申請者	福岡県古賀市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	46,186千円（14,326千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	生産年齢人口である20代～40代の本市における転出超過傾向を踏まえ、インキュベーション施設を地域の核とし、デジタル人材の育成や進出企業と地元企業の共働による製造業のDX化推進、企業誘致による地域資源・課題の可視化、ワーケーションによる多様な働き方と移住定住の促進・関係人口の創出・拡大といった取組を通して、魅力的なまちづくりと地域活力の活性化を図り、持続可能な地域社会構造への移行をめざす。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○市民や移住希望者にデジタル人材育成のための研修を実施 ・デジタル人材育成研修の実施（委託料）4,646千円 ○製造業を中心とした市内企業の管理職クラスを対象としてDX や生成AI等の活用を推進するための支援を実施 ・企業DX推進支援の実施（委託料）1,650千円 ○市内企業とDX人材をマッチングを支援する取組を実施 ・企業デジタル業務BPO支援（委託料）1,430千円 ・デジタル人材と企業のマッチング支援（委託料）1,320千円 ○暮らしや働き方をイメージできる短期のワーケーションを子育て世帯を対象として実施 ・親子ワーケーションの実施（委託料）5,280千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①20代～40代のUIJターン数（+168人） ②デジタル人材育成研修の受講者数（+60人） ③DX・生成AI活用に取り組んだ企業数（+6社） ④親子ワーケーション参加世帯数（+30世帯）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://koga-iju.com/ （効果検証） https://www.city.koga.fukuoka.jp/cityhall/work/kikaku/071.php

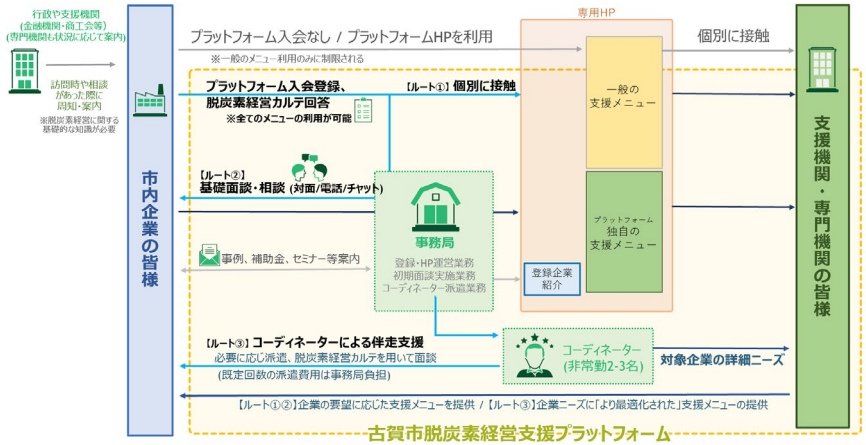
事業概要【古賀市未来創生インターンシップ事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県古賀市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>36,003千円
（12,001千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>地方への人の流れ分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">• 地元企業のPRと魅力的なインターンシッププログラムを通じて、将来の担い手となる若者を古賀市に呼び込み、人材不足問題を解消する
• 地域に愛着を持った 若年層の流入により、地域コミュニティの活性化・地域ブランド力の向上をめざす
• 商工会や進出企業との連携を強化することで、地域全体の活性化につなげる</td></tr>
<tr><td>事業概要・主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">【事業概要】
ハイセンスな企業紹介動画等PR資料の制作（3～5社程度）、SNS広告による動画配信（ターゲット：首都圏の大学生）古賀市商工会との連携強化、参加企業の募集、首都圏の大学との連携、インターンシップ参加学生の募集　などを実施

【ソフト事業経費】
〇企業PR費（委託料）　1,485千円
〇受け入れ先企業支援費（委託料）　825千円
〇インターンシッププログラムPR費（委託料）　1,771千円
〇インターンシッププログラム運営費　（委託料）　2,145千円
〇機材費・事務局運営費（委託料）　　1,265千円</td><td colspan="3"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な主体の参画</td><td colspan="5">県内外の大学との連携し、学生の興味を引くPRに取り組む。人材確保に課題のある事業者を募集するため、商工会と連携する。
社会保険労務士法人の協力により、「若者に選ばれる企業」「就職したくなる企業」へと進化するための支援を行う。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①プログラムで創出された関係人口数（＋300人）
②インターンシップに参加した大学生等の人数（＋30人）
③インターンシッププログラムに参加した企業数（＋15社）
④プログラムに参加する企業の採用者数（＋11人）</td></tr>
</table>

事業概要【地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制による地方創生プロジェクト】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県古賀市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>26,625千円（8,875千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>ローカルイノベーション分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">・福岡県内の支援機関、専門機関、地域金融機関、市内事業者、各種行政機関と共に脱炭素経営支援プラットフォームを構築・運用し、各企業が個々に対応している問題を地域全体の問題として考え、限られた時間、予算の中で、効果的・効率的に脱炭素経営への移行を進める支援を行うことで、地域脱炭素の実現を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要・主な経費

※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="3">【ソフト事業経費】
〇古賀市脱炭素経営支援プラットフォームの運用に係る事業
・プラットフォーム運用　（委託費：7,345千円）
・コーディネーター派遣
・支援メニュー管理
・会員向けセミナー開催
・情報発信
〇温室効果ガス排出量可視化支援事業
（補助金：500千円）
・温室効果ガス排出量可視化システム導入費補助
〇脱炭素社会実現に資する専門人材の招へいに関する事業
（報償費・旅費：1,030千円）</td><td colspan="4"> 
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な主体の参画</td><td colspan="3">市内事業者、省エネルギーセンター九州支部や福岡県地球温暖化防止活動推進センター等の専門機関、福岡県、九州経済産業局、九州環境事務所、地域金融機関、古賀市商工会等と連携してプラットフォームを運営し、市内中堅・中小企業の脱炭素化に向けて支援を行う。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①プラットフォーム参画企業の新規雇用者数（60人）
②プラットフォームに参画している企業数（50社）
③プラットフォームを通じて支援メニューを利用した企業数（20社）
④プラットフォームが主催するセミナーへの参加企業数（40社）</td></tr>
</table>

事業概要【市民共働・官民連携のプラットホーム構築による持続可能な幸せまちづくり事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県福津市</td><td>初回採択回</td><td>令和４年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R4-R7年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>69,024千円
（10,354千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">・まちづくり人財が分野横断的に集う仕組みをつくる
・異なる属性のまちづくり人財が関係性を深める仕組みをつくる
・他活動主体との共働・共創に取り組むことで担い手問題の解決を図る
・民間主導による市民参画・共働のまちづくりへの転換を図る</td></tr>
<tr><td>事業概要・主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【事業概要】
3年間で構築した業務に基づき、センター事業を公民連携型で運営する。以下業務委託において、「共働・共創支援人財（運営サポーター）の育成」に注力し、センターと関係するまちづくり人財の力を生かして、加速度的に事業効果が広がることを目指す。

【ソフト事業経費】
〇市民活動支援、連携・共働・共創支援のスキル・経験を有する民間事業者への業務委託料
10,354千円</td><td colspan="3">

キッカケ ラボ
KIKKAKE LAB.</td></tr>
<tr><td>地域の多様な主体の参画</td><td colspan="4">センターは公民連携型運営とし、行政、大学関係者、地域自治関係者、社会教育関係者、民間事業者、市民等で運営する。
また、ウェルビーイングを研究する大学関係者、社会福祉協議会、シルバー人材センター等とコンテンツを連携実施するとともに、金融・大学・保育・観光協会等、多様な民間視点から効果検証に取り組む。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①共働・共創プロジェクト事業数（＋50事業）
②センターの関係人口数（＋3,296人）
③10代から30代のまちづくりへの参加率（＋5.0%）</td></tr>
</table>

事業概要【持続可能な「ふくつ」観光地域づくりにおける“産業連携×デジタル活用×地域活性化”による高付加価値化の実現プラットフォーム構築事業】

申請者	福岡県福津市						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	28,800千円 （9,600千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	• 来訪者の周遊促進を目指し、テコ入れ策を検討・実施する観光関連事業者組織の形成支援を行う • より多くの来訪につなげるために、従来の紙媒体中心のPRからデジタル技術を活用したPRにシフトする • ポテンシャルを発揮しきれていない観光拠点の再生に取り組む							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 〇観光関連事業者間における連携体制の構築 ・観光関連ステークホルダーによる課題解決グループ形成支援（2,800千円） ・来訪者周遊に向けた課題等の意見集約及び分析（1,000千円） ・来訪者周遊促進プログラムの企画・準備（800千円） 〇デジタルを活用した観光総合プロモーション ・デジタル活用による観光PRターゲット・来訪者ニーズの分析（1,700千円） ・ターゲティングの手法を用いたPRの展開（300千円） ・多言語対応を含むデジタルコンテンツによる観光PR総合委託業務（1,700千円） ・事業者に対するデジタル利活用促進（300千円） 〇観光拠点再生に向けたスキーム構築 ・拠点における事業者連絡調整、企画の実現に向けた状況分析（400千円） ・高付加価値コンテンツの造成のための基盤整備（600千円）							
地域の多様な主体の参画	市の観光振興の主体の一翼を担う組織であるDMO及び観光協会や、福岡県、大学教授や地銀関係者等と連携し、本事業に対する意見や取り組みへの改善提案を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①来訪者一人あたりの観光消費額(＋204円) ②観光入込客数（＋265千人） ③FUKUTSU WAVEにおけるPV数（＋72,299件）

事業概要【糸島市「地域人材活躍・地域活性化」事業】

旧制度（推進）

申請者	福岡県糸島市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	49,117千円（14,540千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	近い未来、人口減少が避けられない中、「自分らしく働けるまち」、「チャレンジしたくなるまち」、「企業や学生、市民、ビジネスパーソンが繋がり、互いのSOSを出し合え、協力し合えるまち」を目標に据えた取り組みを実施し、若年層の転入超過（社会増）や企業人材の充足を実現させるとともに、企業や人材の一人当たりのチャレンジ数を維持・拡大させ、活気が衰えないまちを作る。		

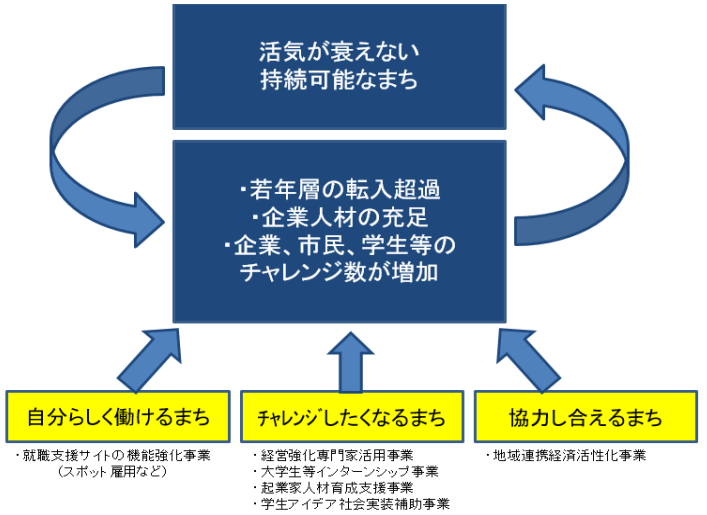
事業概要・主な経費

※経費内訳はR7年度事業費

○経営強化専門家活用事業　9,000千円
- プロフェッショナル人材を活用した経営課題の解決、事業継続力強化計画の策定（補助金）3,000千円
- 企業とプロフェッショナル人材のマッチング支援、人材採用後の伴走支援、セミナー開催（委託料）6,000千円

○大学生等インターンシップ事業　3,540千円
大学生等と企業等のマッチング（委託料）

○学生アイデア社会実装補助事業　2,000千円
市が抱える地域課題や行政課題等を研究する、協定大学の学生に対する研究費用の補助（補助金）



KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

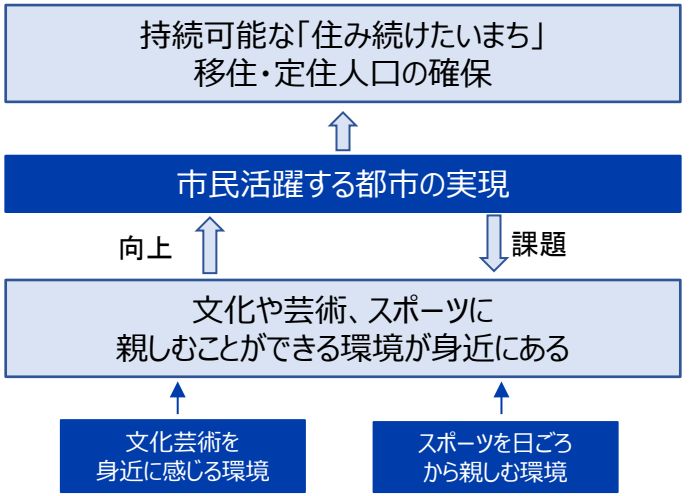
①20～64歳の転入出者数（+1,200人）
②法人市民税決算額（+0.04億円）
③創業件数（商工会支援件数、累計）（+25件）
④就職支援サイト「きっとみつかる　糸島しごとさがし」の登録企業数（累計）（+16社）

関連URL

（交付金の具体的使途・実施体制）
https://www.city.itoshima.lg.jp/s005/010/010/020/070/01/20210326164242.html
（効果検証）
https://www.city.itoshima.lg.jp/s005/010/010/020/070/01/022/20240201170934.html

事業概要【市民活躍都市「いとしま」実現事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県糸島市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>331,475千円
（5,977千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>地方への人の流れ分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">従来の施策や事業による「訪れる場所」「住む場所」のまちづくりだけではなく、豊かで充実した生活を送ることができる「暮らす場所」「住み続けたい場所」のまちづくりに向けて、文化芸術やスポーツに着目した学習・活動の基礎づくりに取り組むことで、あらゆる機会、あらゆる場所で学習・活動することができ、その成果を生かすことができる「市民が活躍するまち」をつくる。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">「文化・芸術を身近に感じるまち」の実現に向けて、本市の長期的かつ戦略的な取組や方向性を構築するとともに、市民が身近に糸島の文化芸術に触れるための文化財の整備を実施する。また、絵画展や書道作品展などを実施し、子どもたちが学校教育の範囲を超えて文化芸術に親しむことのできる機会を創出する。さらに、多くの市民に親しまれるグラウンド施設整備に向け、実施設計及び整備に取り組む。

【ソフト事業経費】
〇文化芸術推進基本計画策定事業
・計画策定業務委託（委託費）：2,977千円
〇歴史的絵画等展示事業
・絵画等修復委託（委託費）：3,000千円</td><td colspan="3"> 
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="5">大学と連携して学術的知見から助言を得ることに加え、本市の文化芸術やスポーツの振興に寄与する団体および文化施設等の管理運営者を通じて、実際に活動に取り組む市民の意見を集約し、事業改善を図る。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①転出入者数（転入者数－転出者数）（+80人）
②文化や芸術、スポーツに親しむことができる環境が身近にあると感じる市民の割合（+12%）
③市主催の文化振興事業年間参加者数（+40人）
④筥根グラウンド年間利用者数（＋37,000人）</td></tr>
</table>

事業概要【芦屋版DMOを核とした観光地域づくり事業】

旧制度（推進）

申請者	福岡県芦屋町	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	166,756千円（32,256千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	「芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる政策目標Ⅰ「芦屋の魅力を生かし、新しいひとの流れをつくる」の実現に向け、前身事業の課題であった町内滞在時間（回遊性）を高めるとともに、本町における観光地域づくりの舵取り役となる芦屋版ＤＭＯを設立し、地域関係団体と連携した観光振興やマーケティング経営を発展的に実践することで、自らが稼ぐ仕組みを構築し、地域経済の拡大といった好循環に繋げ、持続可能な地域をつくる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○芦屋版ＤＭＯ体制構築支援　3,902千円 ・芦屋版ＤＭＯの人材確保・育成 ・効果的な情報発信手法の導入と実践 ・観光推進体制を構築・強化 ○観光利便性を高める駐車場等設計　25,700千円 ・駐車場等実施設計作成 ○ｗｅｂ３運営・保守　2,654千円 ・ｗｅｂ３に関連する保守業務 ・新たなＮＦＴの取り組み案の検討 ・ＤＡＯの運営	芦屋港活性化基本計画・第１回変更計画に伴う鳥瞰イメージパース 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①メタバースユーザー数（+1,600人） ②芦屋版ＤＭＯの管理運営者数（+6人） ③観光消費額（+128,000千円） ④ＤＭＯによる自主事業件数（+5件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.town.ashiya.lg.jp/site/ashiyamachisougousenryakuoyobijinkoubijyon/1785.html

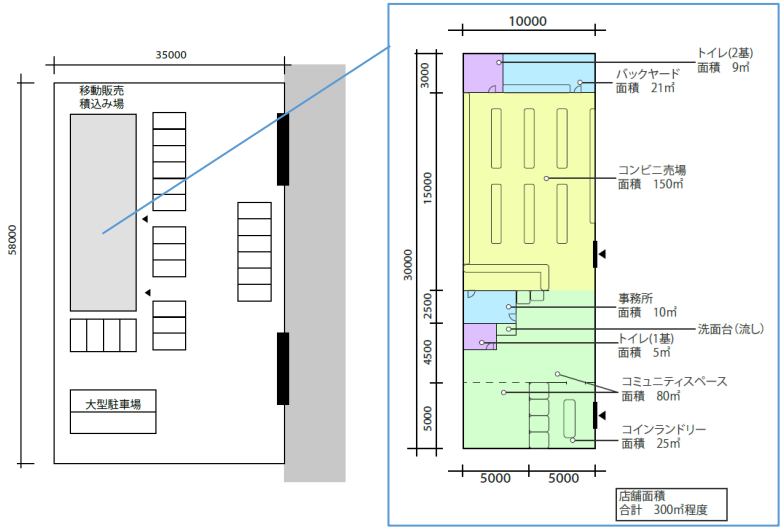
事業概要【特産品「水巻のでかにんにく」の高収益化及び次世代担い手支援事業】

申請者	福岡県水巻町						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	24,000千円 （3,500千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	農林水産分野
目的・効果	• 次世代に選ばれる稼げる農業を構築し、農地保全に資する担い手を確保する。 • 安定した特産品の生産体制を構築することで、地域関連産業の活性化・町のPRを促進する。							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 マーケティング調査を行い商品形態及び商品価格の見直しを行うとともに、販路の開拓を行うことで、拡大した販路に対応するため、作付け量を増やし、次年度の収益改善に取り組む。また、生産量拡大を迅速に推進するため、町が購入する種を生産者に支給し生産者の負担を軽減するとともに、担い手となる生産者の生産技術向上、ブランド作物のブランド管理・意識の向上、販路拡大、PRを目的とし、先進地視察・展示商談会に係る担い手の費用負担の一部を支援する。 【ソフト事業経費】 〇マーケティング調査・プロモーション事業 ・マーケティング調査・プロモーション（委託費） 2,000千円 〇生産者支援事業 ・拡大圃場分の種の購入（需用費） 1,000千円 ・先進地視察（旅費） 250千円 ・展示商談会出展料・交通費（手数料） 250千円							
地域の多様な主体の参画	生産者、販売者、商工会、役場、地場金融機関からなる協議会において、各セクション間の連携・意見調整による事業改善に取り組む。生産量を増加し、効率的な販売の実現により生産者、新たな担い手の高収益を実現するため、生産者、販売者、商工会が連携し、加工品の開発や生産から販売までの新たなサプライチェーンを構築する。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①納品量（＋10,400kg） ②納品額（＋100円/kg） ③新規販路数（＋15カ所） ④先進地視察回数（＋3回）

事業概要【買い物×居場所×災害備えにより村の暮らしに未来を灯す生活支援拠点創造プロジェクト）】

申請者	福岡県東峰村						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	194,936千円 （153,357千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	まちづくり分野

目的・効果	・人口減少や度重なる豪雨被災等の複合的要因により、暮らしの維持が困難になりつつある本村において、生活に不可欠な物販機能、コミュニティ機能、生活利便機能を併せ持った「生活支援拠点」を整備する。平時には買い物とコミュニティ維持、豪雨等の有事には物資供給として機能することで、村民の毎日の暮らしの維持と村で生きる希望となることを目指す。なお運営は、村民出資型の運営会社を新設する。
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 買い物支援としての物販機能と、村民の居場所としての地域コミュニティ機能、それに付随する生活利便機能を併せ持った生活支援拠点を整備する。 【ソフト事業経費】 〇会社組成・開業支援 ・会社組成・運営計画立案（委託料）等　9,152千円 【拠点整備事業経費】 〇生活支援拠点（母店）を整備 ・設計業務等・建築工事費　88,905千円 ・建築物と不可分となっている機能を有する設備　31,500千円 ・施設整備・用地造成等　23,800千円



地域の多様な主体の参画	地域協議会の構成団体（議会、村内事業者、住民団体等）と、本事業の協議を行う。拠点の運営に係る住民意見の収集、情報共有を行い、拠点整備のプロセス、運営計画の検討、法人の設立等の事業内容に意見を反映する。	KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①村内の小学生＋中学生の人数(−15人) ②買い物環境を不便に感じる人の割合(高齢者)(−7.9%) ③施設利用者数（18.2万人/年） ④店舗売上（16,425万円/年）

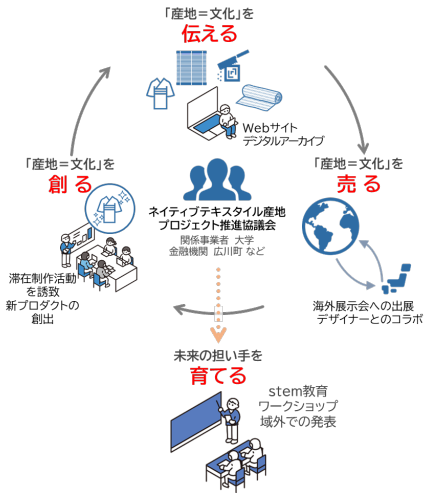
事業概要【ネイティブテキスタイル産地プロジェクト】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県広川町</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>101,700千円
（36,560千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>ローカルイノベーション分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">広川町特産の綿織物「久留米絣」のほか、筑後地域に残る「八女すだれ」や「八女和紙」、い草を織り上げる「ござ」等の手工芸品が持つ価値と魅力を世界に広め、クリエイティブ人材を世界中から引き寄せ、また新たな「もの」と「文化」を創り出しながら、地域経済の活性化と持続可能な社会の実現を目指すもの。加えて、未来の担い手となる町内の小中学生向けのプログラムも強化することで、文化の継承と新たな人材の獲得も目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">【ソフト事業経費】
○ネイティブテキスタイル・ラボラトリー構築事業：22,460千円
・ネイティブテキスタイルラボ運営経費
・コラボレーター誘致企画および新プロダクト創出支援経費（負担金）、アーカイブサイト構築経費（負担金）、協議会運営支援業務経費（委託料）
○海外プロモーション事業：2,500千円
・ミラノサローネ（イタリア）への出展企画経費（負担金）
○小中学生向け人材育成事業：1,600千円
・プログラム企画運営経費（負担金）
○ネイティブテキスタイル・ラボラトリー構築事業　10,000千円
・ネイティブテキスタイルに関する資料研究や試作ができるよう、施設の機能強化を実施</td><td colspan="3">ネイティブテキスタイル
「産業＝工業」から「産業＝文化」へ
ここでしか作れない「もの」
この土地に過去から紡がれた固有性

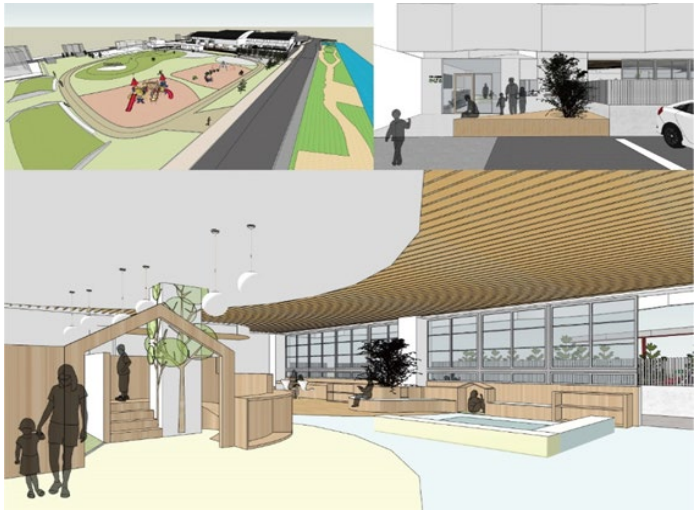
1. ネイティブテキスタイル・ラボラトリー構築事業
コラボレーターや大学の滞在制作活動を誘致し、新プロダクトを創出する。ネイティブテキスタイルについて、海外に発信するWebサイトを構築し、世界中に伝達者を増やす。

2. 海外プロモーション事業
海外の展示会にネイティブテキスタイルを出展し、評価を高める。また、魅力に触れた海外のデザイナーやコラボレーターをラボラトリーに誘導する。

3. 小中学生向け人材育成事業
ネイティブテキスタイルの持つ価値や魅力を伝え、産地の文化を継承するとともに地域に誇りを持つ、未来の担い手を育成する。

  </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="5">久留米絣事業者、天然染色事業者、八女すだれ事業者、和紙、い草ござ事業者、飲食業者などで協議会を設立し、連携しながら一体的に取り組む。金融機関や大学、専門職大学等の専門的知見を投入し、地域経済や販路の拡大、他産地・他業種とのコラボレーションを加速させる。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①海外市場での商談成立数（＋34件）
②本事業を通じての売上額（＋186,000千円）
③視察人数（クリエイター、事業者）（＋1,450人）
④新規取引き問い合わせ件数（海外）（＋475件）
⑤小中学生のイベント参加数（＋530人）
⑥小中学生の域外での発表件数（＋86人）</td></tr>
</table>

事業概要【香春町子育て支援施設「かぱる」整備事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県香春町</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>222,735千円
（218,135千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">• 廃校となった旧香春小学校に子育て支援施設を整備し、町内の方の子育て環境の満足度向上及び町外からも人を呼び込み、今まで本町には少なかった子育て世代の交流人口や関係人口の増加に繋げる。
• 移住イベントや施設に来場した子育て世代をターゲットに、移住プロモーションの展開や町の子育て施策をPRすることで、“子育てしやすい香春町”の魅力を知ってもらうことに繋がり、移住者の増加や町内の子育て世代の転出抑制に寄与する。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">【事業概要】
廃校となった旧香春小学校に、１年を通じて天候に左右されず、親子で遊ぶことができる屋内遊戯場や保護者が集い交流や学ぶことができる会議室やランチスペース、気軽に専門家に相談できる相談室などを整備する。また、整備する施設や本町の子育て施策のPRを行う。
【ソフト事業費内訳】
〇香春町子育て施策PR事業　4,300千円
【拠点整備事業費内訳】
旧香春小学校に子育て支援施設「かぱる」を整備
・施設整備　158,274千円
・室内遊具等の整備　8,750千円
施設周辺駐車場の整備
・駐車場整備工事　33,004千円</td><td colspan="3">  </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="5">香春思永館や近隣の高校・大学と職場体験、ボランティア活動などで連携することにより、若い世代に本施設を周知し、将来的な定住者・移住者の増加を図る。
また、定期的に開催するイベントなどでボランティアとして地域の方々に参加してもらうことにより、子どもや保護者のみの交流でなく、地域の方々との交流を促進、廃校となった場所にもう一度子どもの声が生みだし、地域の活性化に繋げていく。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①地域の転入者数(＋60人)
②年間施設利用者数(＋5,500人)
③年少人口(0～14歳)の社会増減数(＋6人)
④本施設利用に満足と答えた人の割合
(＋100%)</td></tr>
</table>

事業概要【香春町お試し居住施設「香春ん家（かわらんち）」整備事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県香春町</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>13,497千円
（7,553千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>地方への人の流れ分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">• 地域資源である空き家を改修し、移住後の香春町での生活をよりリアルに体験できるお試し居住施設を整備することで、本町へ子育て世帯の移住・定住につなげることを目的とする。
• 空き家を活用することで、危険空き家発生の抑制や多くの人々が交流することで地域の活気を取り戻し、活力ある地域の再生へつなげる。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【事業概要】
香春町への移住をよりリアルに体験するため、既存の空き家が持つ機能を大きく超えたフルリノベーション等は行わず、空き家が持つ機能や経年劣化を生かした改修とする。「都市部にはない近所付き合い」などを体験し、地域の価値を知ることを目的としており、事業運営及びプロモーションなどを継続的に行っていく。※民間が所有する空き家を改修

【ソフト事業費内訳】
お試し居住施設の整備及び運営に係る経費を補助する。
・お試し居住施設整備費用　5,181千円
・お試し居住施設運営費用　2,372千円</td><td colspan="4">
 </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">香春町地域おこし協力隊のOBが設立した一般社団法人と連携し、移住者に対して、お試し居住施設の紹介・利用にあたってのヒアリング・地域や保育所及び学校等への案内など『利用コーディネーター』として、町と協力しながら事業を実施する。
また、自治会とも連携し、地域からの意見を集約、利用者の意見とともに事業への反映に取り組む。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①地域へのUIJターン人数（+50人）
②本施設を利用して移住した人数（+15人）
③施設利用者数〈年間〉（+820人）
④本施設を利用して満足と答えた人の割合（100%）</td></tr>
</table>

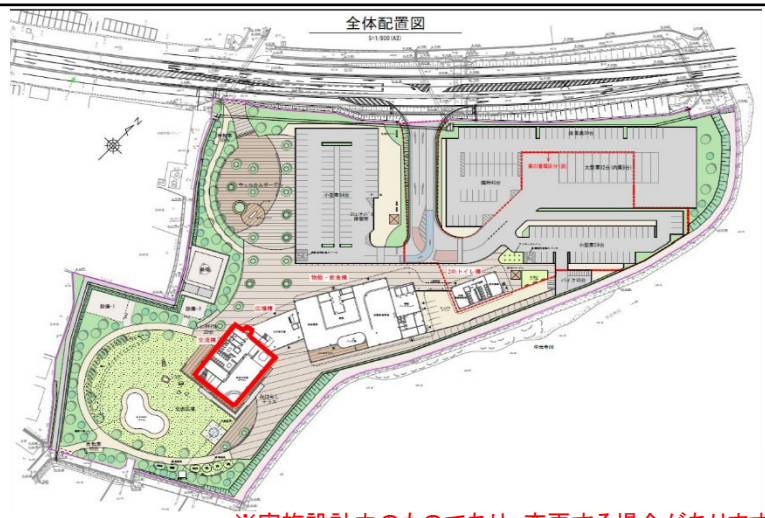
事業概要【来て見て、住んで春香る町へ。旧香春小学校を活用した秋月街道沿い旧商店街賑わい再生事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県香春町</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>812,854千円
（23,167千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">• チャレンジショップ及び遊具を備えたイベント広場を整備することにより、町の中心地である旧香春小学校周辺の賑わいの復活させ、将来的には秋月街道沿い旧商店街の賑わいを再生を目指すものである。
• チャレンジショップを整備することにより、若い世代の創業のハードルを下げ、町内の経済の活性化に繋げるとともに、その整備場所をコワーキングスペースや保育園・子育て支援施設等がある旧香春小とすることで、若い世代の移住・定住を促進していく。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">【事業概要】
廃校及び廃園となった旧香春小学校・旧香春保育園跡地に、チャレンジショップ及び遊具を備えたイベント広場を整備する。また、施設の運営主体の設立を支援、マルシェ等のイベントを実施する。
【ソフト事業費内訳】
施設全体の運営者の設立・育成支援、創業・空き家活用事業者の補助を行う。
・運営主体の設立支援事業(委託)　9,282千円
・空き店舗の掘り起し(委託)　1,500千円
・コワーキングスペースかわら改修事業(補助金)　7,897千円
【拠点整備事業費内訳】
整備する施設の実施設計を行う。
・賑わい施設及び保育所解体実施設計業務　4,488千円</td><td colspan="3"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="5">商工会と連携し、チャレンジショップ出店者への勉強会や店舗づくりなどをサポートするスクールを実施やオープン後も伴走支援を実施する。
ＳＮＳ等での情報発信にノウハウがある地域おこし協力隊と協力することで、本施設を含む香春町の創業支援やイベント情報を発信してもらい、ＰＲ活動を強化していく。また、イベント広場において協力隊主体の移住・定住フェスやマルシェを開催、賑わいを生み出していく。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①地域の転入者数(＋70人)
②チャレンジショップの利用者数(＋30,000人)
③事業を通じた新規開業数(＋16件)
④事業を通じて新規で空き家・空き地情報バンクに登録された空き店舗件数(＋21件)</td></tr>
</table>

事業概要【川崎町道の駅を核とした　多世代が出会い、つながり、交流する　～くらしの真ん中「まちのリビング」創出事業～】

旧制度（拠点）

※民間事業者の施設整備に対する間接補助

申請者	福岡県川崎町	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R9年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	948,600千円（17,741千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	本町の中心を通っている国道322号バイパス沿いに、道の駅の一部として全天候型屋内遊戯施設等の機能をもった多世代交流施設を整備し、子育て環境の充実を図り、子育て世代のさらなる転入を促すとともに、町内経済の活性化と若い世代に魅力的な雇用創出、UIターンの促進、移住定住の促進、町の魅力を高めるプロジェクト等を積極的に推進し、地域の人口、地域の世帯数の増加を図る。		
整備内容・利活用方策 ※経費内訳はR7年度事業費	【整備内容・利活用方策】 道の駅において、全天候型屋内遊具施設を建設するものである。本町では、様々な子育て支援施策を実施しているが上手く情報を発信できていない状況であり、本施設を子育ての情報発信拠点に位置づけ、デジタルサイネージ等のデジタル技術を活用し、子育て支援施策を直接利用していない世代や町外者へ向けて広く情報発信を行う。 【建築実施設計】 建築実施設計費　16,387千円 【用地造成】 用地造成費　1,354千円	 ※実施設計中のものであり、変更する場合があります。	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口数（＋32人） ②年間来場者数（＋95,000人） ③交流人口数（＋80,000人） ④年少人口（０～１４歳）の社会増減数（＋9人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town-kawasaki.com/ （効果検証） https://www.town-kawasaki.com/

事業概要【道の駅を核としたまちの賑わい創出事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県川崎町</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>1,421,700千円
（184,300千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>農林水産分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">• 「パン」をテーマにした道の駅の開業を通じて、生産体制や販売体制の再構築を進め、生産者や事業者が生産に専念しながら所得向上を図る仕組みを形成し、生産性・市場性の高い持続可能な農業の確立を図る。
• 地域の農産物を活用したレストランやパン工房の設置、また農業者や地元の学校などが連携し特産品開発に取り組み、これにより生み出された商品・サービスにより地域ブランド力を高め、地域経済・活力の底上げを目指す。
• 子育て世代や若者が住みやすいまちづくり、高齢者が安心して暮らせる環境を整備し、まちの賑わいを創出する。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【事業概要】
道の駅を開業するにあたり、運営戦略、マーケティング・ブランディングにおいて専門家を活用し、持続的で収益性の高い施設運営を目指す。また、生産者支援、特産品の開発、デジタルを活用した販路の拡大等を図り、農業生産の拡大と六次化の推進を行う。さらに健康教室や買い物支援事業を通じて地域の賑わいを創出し、ＳＮＳや動画コンテンツによる地域資源の発信や着地型観光商品の造成により交流人口の増加を目指す。
【ソフト事業経費】
・道の駅運営基本戦略策定等に関する事業　27,000千円
・農業生産拡大事業　1,800千円
・賑わい創出事業　42,500千円
【拠点整備事業経費】
・農産物加工センター、ライスセンター等整備　113,000千円</td><td colspan="3"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">農業生産者、商工会、銀行等と道の駅プロジェクトチームを設置し、地元企業の紹介や意見収集を実施する。また、定期的にワークショップを開催し、住民や労働者などの多様なニーズの収集、意見交換を行い、地域全体で道の駅を軸にした賑わいづくりの機運を高める。さらに教育機関との共同プロジェクトとしてワークショップを学生参加型とし、若手人材の育成と確保を行う。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①農業産出額の増（＋4000万円）
②新規就農者数（＋5人）
③新たな特産品開発等による新規雇用（＋10人）
④転出超過数（▲28人）
⑤観光入込客数の増加（＋219千人）
⑥創業支援事業利用件数（+6件）</td></tr>
</table>

事業概要【地域活性化の核となる多目的アリーナ建設事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県福智町</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R8年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>2,000,000千円
（1,950,400千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td></td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">現在、本町では旧町単位で設置された老朽化の進む３つの体育館を統合した総合体育館新設を計画している。この体育館にプロバレーボールリーグであるVリーグ基準に対応した機能を追加し、Vリーグ公式戦のみならず、多彩なスポーツの公式大会や大規模屋内イベント等が開催可能である多目的アリーナとすることで、本町にとどまらない広域的なスポーツ振興に加え、観光・産業分野への好循環サイクル構築を図り、町に新しい人の流れを作る。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">新設する体育館は最大３面の同時利用（最大 バスケットコート２面、バレーコート１面）を想定している。また通常の機能に加え、ホームタウン協定を結ぶVリーグ所属の女子プロバレーボールチーム「カノアラウレアーズ福岡」のホームアリーナとしての機能を満たす規模とする。
このVリーグ基準を満たすことにより、音響・空調・観覧席（2,000席）に加え、大型ビジョンやTV配信対応の通信設備を備えた多機能施設となる。これによりプロスポーツ興行だけでなく、大規模なパブリックビューイングやオンライン講演、コンサートなど、これまで町内で実施されてこなかった新しい活用が期待できる。
○（仮称）福智町総合体育館建設費
・事業費　1,950,400千円</td><td colspan="4"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">ホームタウン協定を締結しているカノアラウレアーズ福岡のホームゲームをはじめ、各種スポーツ団体と連携した運用により施設稼働率の向上を目指す。また提携している多様な分野の民間事業者からの意見を反映し、効果的な施設運用を展開する。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①人口の社会動態（+160人）
②年間施設利用者数（＋25,443人）
③年間施設利用料（＋11,800千円）
④公式大会・興行等の誘致回数（＋24回）
⑤町内の新規創業者数（＋45者）</td></tr>
</table>

事業概要【小さな町の居心地の良い空間から広がるまち・ひと・しごと創生事業　ー明るい未来へー】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福岡県吉富町</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>2,029,500千円
（48,000千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">コンパクトな町の良さを最大限、活かすため、世代を超えた町民同士の交流、さらには町外・県外・国外も含めた多様な交流を支援することができる、複合的な性質や機能を持った多世代交流型複合施設の拠点整備を行い、シビックプライドを醸成する。また、拠点を起点とした地域の多様な主体の参画により、新たな笑顔あふれるイベント企画や交流人口・関係人口が増加する。さらには増加傾向の空家等を活用した創業支援をすることで、若者・女性が働きやすい環境づくりを行うとともに「創業しやすいまち」から「起業したくなるまち」へと、さらなる認知度を向上させ、若年層の転出に歯止めをかける新たな町の循環型モデルを目指す。併せて、小さな町の多様な世代の居心地の良い空間から広がる幸せで笑顔が絶えない持続可能なまちづくりを目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【事業概要】
・まちづくり会社の安定的な事業展開・新たな事業拡大
・チャレンジショップ事業において更なる誘客・町の取組みPR・創業者の掘り起こし等を行う
・新たなイベント企画により、子どもから高齢者まで特に若者・女性を集客し若年層の流出を防ぐ
・複合的な性質や機能を持った新たな拠点として多世代交流型複合施設を整備し、シビックプライドを醸成する
【ソフト事業経費】
〇まちづくり会社と地場企業の連携による地域づくり事業
・新たなまちづくり活性化事業（助成金）3,000千円
〇若者・女性が働きやすい環境創生事業
・起業したくなる街づくり支援（委託料）7,500千円
・笑顔あふれるイベント企画（委託料）5,500千円
【拠点整備事業経費】
〇町のシビックエリアに多世代交流型複合施設の整備
・施設整備基本設計（委託料）32,000千円</td><td colspan="4"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">商工会、町内事業所等、まちづくり会社と共同で１次から３次産業の連絡調整を行い新たなイベントや観光事業を行う。
　小学校、中学校と共同で商品開発に取組み、子どもたちの視点から観光資源の創出を行う。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①空家等活用の町内新規創業者数（累計）（+15人）
②関係人口者数（累計）（+25,000人）
③合計特殊出生率（+0.18%）</td></tr>
</table>